

## 新しい時代の札幌都心まちづくり

札幌は、今まさに世界都市を目指して、都心の魅力と活力を高める動きを起こす。そういう時期を迎えています。

これまで、札幌は急成長する人口や産業活動を支えるため、都市基盤の整備を精力的に進めてきました。21世紀は、これまでのストックを活用して都市としての個性・風格を備え、「あんな街に住みたい」と世界の人々に認められ、尊敬されるようなまちにしていきたいと思います。

そのときのキーワードを、私は「環境と文化」と考えています。

豊かな自然を大切にするなど環境と共生する都市であることは、札幌の大きな特長です。また人々が学び伝え、織り成してきた生活のあり様を、私は都市の文化と言いたいと考えています。その意味からも世界に誇れる札幌の都市文化を育てていきたいものです。

都心は本来、わが街“さっぽろ”を最もよく表している“顔”であり、そこではいろいろな刺激や発見、楽しみがあり、それが繰り返し新鮮なものに常に置きかえられていく。多くの人々が、地域での日常生活を営みながらも、都心の魅力にひかれ楽しむ。

また都心では、良い意味での競争がある。新しいことにチャレンジする者が現われ、素晴らしいもの、魅力あるものを提案する。それを受けてさまざまな交流が生まれ、また次の挑戦が始まる。

都心がこうしたステージであってこそ、札幌を訪れた世界の人びとの心に、さわやかな印象を刻むことができるのではないのでしょうか。

このような新しい時代の都心づくりを実際に進めるためには、市民、企業、商店街組織、NPO、行政などのさまざまな主体が協働して取組むことが不可欠です。この計画は、そのような都心まちづくりを効果的に展開するための枠組みを整理するものとして策定いたしました。

今後、関係者が思いを同じくして、より具体的な目標や取組みを共有化し、世界に誇れる“さっぽろ”の顔となる都心のまちづくりを進めていきましょう。

平成14年6月

札幌市長 桂 信雄

## 風土的都市デザインと札幌

北海道の風土は、北欧やアメリカ北東部と似ているとよく言われる。森や林を歩き、広大な農地を眺めるとき確かにその共通性を感じる。光と陰影が造りだす自然環境の美しさは素晴らしい。北海道がそなえる風土的特質はこの光の鮮やかさと清明さであろう。しかし、自然が与える光と陰影の感動を都市において受けるであろうか。その答えは否定的である。都市は北海道が誇る光の贈り物を十分に生かしていない。風土とは自然環境と人工環境が共同して創りだす文化的表現といえる。そうであれば都市という人工環境をより質の高いものにしてゆかなければ、北海道の風土は高い評価をうけられない。北海道の都市空間はまだ文化的固有性を備えていないと思う。確かに住宅については北海道型の空間形式ができてきた。しかしその空間形式が文化的価値を有しているかということそうではないと思う。耐震性、保温性に優れている住宅であっても、それ等が街並みとなったとき、風土性をそなえた美しい市街地として評価されないからである。

北海道の風土性そしてその都市における空間的表現について、私は定見がない。いえることはすくなくとも東京の建築群やその市街地像ではないことである。そして他方で北欧諸都市のイミテーションであってはならないことである。さいわい、北海道の諸都市は本州と比べて道路や公園等の公共用地は充分にある。問題はその空間の質が必ずしも高くないこと、道路や公園と建物の関連についての配慮が充分でないことである。建築の立場で街並みを整える努力をすれば、それにとまって道路や公園のデザインの質を高める必要性が明らかになる。これからの時代、都市景観自体が経済を活性化する重要な存在になると言われている。ストックホルムやヘルシンキがそれぞれの国家の中核として国際的経済のなかで健闘しているのは、その都市自体が美しく文化的な個性を備えているからである。札幌は北海道の首都である。その札幌に都市的魅力が備わっていなければ北海道の経済成長は期待できない。

札幌の中心部の方向性についてこれ迄いろいろ検討が加えられて、一定の成果をあげてきた。しかし考えてみると、その内容は土地の高度利用や経済活性化に重点が当てられていて、アーバンデザインの議論は充分にされていない。その点に関して特に言いたいことは、大通公園とその周辺の建築群である。この街並みについて北海道の風土性を創りだせる景観のイメージを衆知をあつめて創りだす時期にきていると思う。21世紀の、風土に立脚した都市デザインを是非札幌で確立していただきたい。

## 志をもて・遠くを見よ / 目標の創出と共有

「志をもて、遠くを見よ」 これは高知・桂浜にある坂本竜馬記念館で出会った言葉です。

20世紀の成長都市・札幌は明快な計画を持った都市であったと言えます。21世紀では、成熟した世界市民が交流・生活する世界都市を目指す段階に入るべき札幌です。

近代化を目指す文明に支えられてきた装置としての成長都市を、文化を育む環境としての成熟都市へ変容させることが、21世紀、世界の都市づくりの目標となっています。

21世紀の世界都市・札幌を目標とした都市づくりの将来像はどうあるべきなのか？ 都心の再生計画とは何か？ また目標実現への戦略をどう組み立ててゆくのか？

その全体像の素描を示しつつ、都心再生への目標と戦略についての共有化が重要です。

120余年前、島判官は山の頂から札幌の姿を描き始めました。この目標の具体化と実現の過程には、島判官の強い志と責任感が随所に伺うことができます。

21世紀の初頭、札幌の将来像のあり様を議論し、まちのハート・都心の将来像を描き出し、その目標と実現戦略を次世代の市民と共有していくことは、世界都市市民としての札幌人にとっての責任でもあります。

そして、「世界都市への志」「参加と決断の勇氣」「実現への責任」。これが私たち札幌人に求められている具体的内容といえます。

多くの市民が参画し、世界都市・札幌への長期的目標像の創出するプロセスが大切です。加えて、札幌人の協働によって目標を実現する仕組みや新しい組織も重要となります。

「志をもて、遠くを見よ。そして、北方圏の世界都市札幌への道程の協創を」

平成14年6月

都心まちづくり計画策定協議会 座長 小林 英嗣



# Contents

## 序章

1	目的と位置づけ .....	1
1.1	計画の理念	
1.2	計画体系	
1.3	計画の目的	
1.4	まちづくりの展開プログラム構築の観点	
2	計画の組立て .....	5
2.1	計画対象区域	
2.2	計画事項	
3	計画策定過程における意見集約 .....	6

## 第 章 目標と方針

1	まちづくりの目標 .....	7
2	目標実現に向けた方針 .....	8
2.1	まちづくりの方針と基本的な取組み	
2.2	都心のまちづくりを支える空間構成	

## 第 章 都心の構造とまちづくりの展開プログラム

1	都心の構造 .....	11
1.1	構造の要素	
1.2	骨格構造	
1.3	ターゲット・エリア	
2	都心まちづくりの展開プログラム .....	16
2.1	骨格軸・交流拠点の形成目標とプログラム	
2.1.1	骨格軸 .....	17
2.1.2	交流拠点 .....	28
2.2	ターゲット・エリアのまちづくりの展開	
3	都心全体のプログラムと重点的取組み .....	37
3.1	全体プログラム	
3.2	重点的取組み	

## 第 章 協働的、継続的なまちづくりの推進

1	協働性の確保 .....	39
2	各主体の役割 .....	40
3	段階的な組織形成のありかた .....	41
4	計画の実行性を高めるための取組み .....	42

## 参考資料



# 序章

## 1 目的と位置づけ

### 1.1 計画の理念

#### 都心のまちづくりの必要性

市民生活の質向上のための多様性確保  
世界へアピールできる札幌の魅力の表現

#### 計画策定の必要性

- 都心の目標像の明確化・共有化
- 個々の取組みの体系的な位置づけ

#### 1) 都心のまちづくりの必要性

20世紀後半、札幌は急成長する人口・産業を収容しその効率的な活動を支えるため、新たな市街地の開発や社会資本整備を精力的に進めてきた。その結果形成された札幌の都市基盤は、21世紀に入り、人口の緩やかな増加が予想される中での都市活動を支え得る水準にほぼ達している。

今後は、市民生活の質の向上がまちづくりの重要な目標となる中で、消費、文化、娯楽、新しいビジネス、居住などのさまざまな面で多様な選択性を確保することが都心に求められ、それは札幌市内に止まらず、札幌圏や全道で生活している人々にとっても重要である。

また、このような質の高い生活の場であることに加え、札幌の特質や美しさ、投資対象としての魅力などが都心で端的に表現されていることが、札幌を世界にアピールし、都市間競争の時代に確固たる地位を築くために不可欠である。

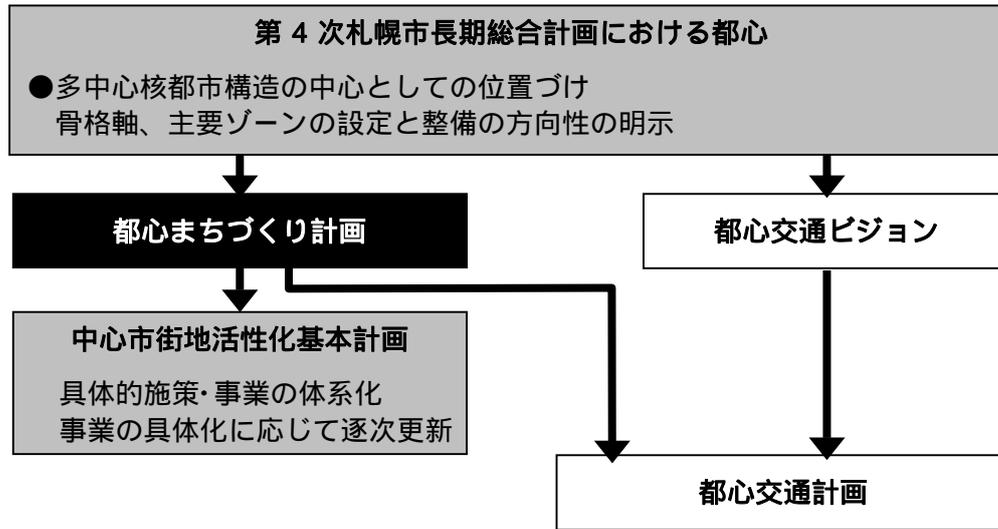
以上から、今後多様性を創出しながら札幌の魅力を表現するために、都心のまちづくりに重点的に取り組むことが必要となる。

#### 2) 計画策定の必要性

都心のまちづくりを重点的に進めるにあたっては、目標を明確にするとともに、個々の取組み・事業の必要性や価値を、都心のまちづくり体系の中で意味付けながら展開する必要がある。そのための基本方向を示すものとして、都心のまちづくりを長期的に展望した計画が必要となる。

本計画は、概ね20年間を計画期間とする。

## 1.2 計画体系



札幌都心のまちづくりに関する計画は、第4次札幌市長期総合計画、本計画（都心まちづくり計画）及び中心市街地活性化基本計画で構成される。

また「都心交通ビジョン」は、まちづくりを交通面から支えるものとして提案されているものであり、今後、市民議論や関係機関との調整を経て、「都心交通計画」の策定に向けた取組みを進めるものである。

### 1) 第4次札幌市長期総合計画

第4次札幌市長期総合計画では、基本構想で掲げる「北方圏の拠点都市」「新しい時代に対応した生活都市」のふたつの都市像を受け、都心を「多中心核都市構造の中心」としたうえで、魅力的で活力ある都心整備の目標を掲げるとともに、重点的に整備に取り組むべき4つの骨格軸と5つの主要ゾーンを設定し、整備の方向性を示している。

本計画は、第4次札幌市長期総合計画を上位計画として策定する。

### 2) 中心市街地活性化基本計画

都心を対象とする「札幌市都心地区中心市街地活性化基本計画」は、本計画を上位計画とし、これを実現化するために優先的に取り組むべき民間及び行政の事業を本計画の枠組みに対応させて位置づけるものである。

また、個々の事業間の調整や新たな事業の抽出、円滑な事業実施のための支援等を、まちづくりの各主体間の連携を図りながら進めるための推進体制のあり方についても明らかにする。

同計画は、主として概ね5年以内の短期的に取り組むべき事業等を体系化するものであることから、事業等の具体化に応じて、逐次更新していくべきものである。

### 1.3 計画の目的

#### 都心まちづくりの基本的な枠組みの設定

第4次札幌市長期総合計画に示される方向性をより具体化し、これからの都心のまちづくりの目標と、その実現化のための方針を設定したうえで、各主体が協働してまちづくりに取り組むための基本的な枠組みを設定する。

#### まちづくりの体系の明示

目標実現に向けた個々の事業の必要性や意義が容易に理解されるよう、都心まちづくりの体系を明らかにする。

#### まちづくり組織の形成と活動の活性化

都心のまちづくりを担う組織（まちづくり組織）を地区ごとに、又は課題に応じて創設することを促すとともに、それらの組織の自主的な活動の活発化を促進する。

#### 協働的・継続的なまちづくりの体制づくり

都心のまちづくり主体と行政との関係を緊密化し、方向性を共有しながら協働的、継続的にまちづくりを展開できる体制の構築を図る。

#### まちづくりの展開プログラムの設定

計画実現に向けて関係主体が自主的に活動できるよう、まちづくりの展開プログラム(骨格軸等の形成目標、目標実現のための取組みと手順、各主体の役割等)を設定する。

### 1.4 まちづくりの展開プログラム構築の観点

#### まちづくりの 構造化・重点化

目標・方針の具体化を  
先導する要素  
まちづくりの進展へ  
の影響大の要素

#### 取組みの 統合と連鎖

一体的・複合的な展開  
(統合)  
先行的取組みが次を  
誘発(連鎖)

#### 主体間の 協働性の確保

場所・テーマに応じた  
主体間連携の確立

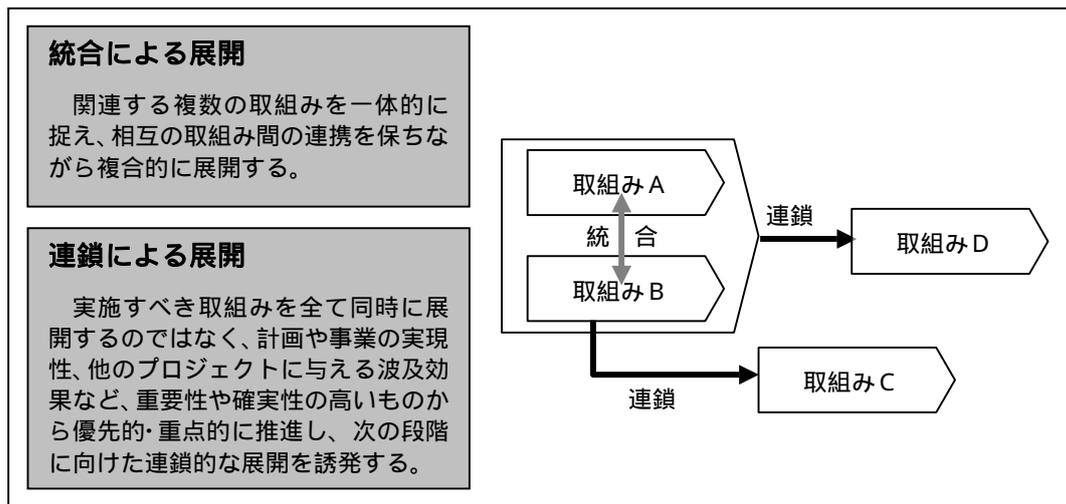
## 1) まちづくりの構造化・重点化

都心は、さまざまな特性を有する地区で構成されていることから、目標や方針の具体化を先導し得る地区やまちづくりの進展への影響が大きい地区を次の3つの視点から構造的に捉え、重点的、優先的な取組みを展開する。

- 視点1：既存資源の活用と新たな動向への対応
- 視点2：関連構想・計画・事業等との整合
- 視点3：市民・来街者ニーズへの対応

## 2) 取組みの統合と連鎖

各々の骨格構造ごとに設定された取組みは、個別に展開されるのではなく、合意形成の状況、個別事業の緊急度、実施主体間の連携の可能性を踏まえ、他の取組みとの関係を考慮しながら、「統合」と「連鎖」という考え方にもとづき段階的に進める。



## 3) 主体間の協働性の確保

都心のまちづくりを推進する主体は、行政、商店街組織、企業、市民など多様であることから、次の4つの視点から取組みの場所やテーマに応じた主体間連携を確立して、協働的にまちづくりを進める。

- 視点1：各主体の役割の明確化（取組みの実施主体の明記）
- 視点2：主体間調整や民間組織への支援を行う中間的なまちづくり組織の創設
- 視点3：行政対応の一元化と迅速化
- 視点4：各主体が参加し、新たな方向性を柔軟、包括的に検討する場の設置

## 2 計画の組立て

### 2.1 計画対象区域

長期総合計画では、「札幌の都心は、JR札幌駅北口の一帯、大通東と豊平川が接する付近、中島公園、大通公園の西側付近を頂点とする、ほぼひし形の区域の広がり、それぞれ異なる特性を持ったゾーンにより構成されている。」と都心のおおむねの区域を示している。

本計画では、この「ひし形」の区域を対象とし、必要に応じて、その周辺部についても検討を加える。



### 2.2 計画事項

本計画は、主として次の事項で構成する。

#### 目標

これからの都心まちづくりの展開にあたり、関係主体が共有すべき将来像

#### 方針

目標実現に向けて具体化すべきまちづくりの方向性

#### 骨格構造

まちづくりの目標・方針の具体化を先導し、その形成による周辺への大きな波及効果が期待される要素(骨格軸及び交流拠点)で構成される都心まちづくりの枠組み

#### ターゲット・エリア

骨格構造の構成要素との深い関連のもと、面的な広がりをもって重点的にまちづくりを展開すべき地区

#### まちづくりの展開プログラム

骨格構造の形成目標やターゲット・エリアのまちづくり目標と主要課題、目標実現のための主要な取組みとそれぞれの推進主体、展開手順

#### 推進体制

まちづくりを協働的に進めるための体制、各主体の役割

## 3 計画策定過程における意見集約

本計画の策定は、平成12年度及び13年度の2カ年で行い、その過程で、「都心のまちづくり計画策定協議会」における検討を中心に、多方面からの意見集約を行った。

### 策定協議会

学識経験者、商業者、関係団体、行政等によって構成され、これからの時代の都心像、まちづくりの目標、まちづくりのプログラム、実現化のための戦略等について方向づけを行った。

### 専門的意見の反映

策定協議会による方向づけを踏まえ、今後のまちづくり上の重要な課題や展開手法の検討を深めるための「専門課題検討会」を開催するとともに、「都心まちづくりフォーラム」において、さまざまな分野の専門家等から都心のまちづくりに対する意見・提言を受け、計画案に反映した。

### 周知、意識啓発と意見反映

#### 意向把握調査

市民及び市外からの来訪者を対象としたアンケート調査等により都心での活動や都心に対する評価などを把握した。

#### 計画の基本的組立ての公表、意見募集

まちづくりの目標、方針、骨格構造等を「都心のまちづくりビジョン」としてまとめ、パンフレット、ホームページ等により広く市民に公表し意見を募集するとともに、これに対するアンケート調査を行った。

#### 関係組織・団体との意見交換

都心の商業関係者、まちづくり組織等と「都心のまちづくりビジョン」及び計画素案について意見交換を行った。

#### フォーラム開催

「都心まちづくりフォーラム2001」を開催し、多面的な議論を展開することにより、情報発信、意見交換、意識啓発を行った。

#### 素案公表

計画素案の公表とこれに対する意見募集を行い、計画へ反映させた。

### 庁内調整

策定協議会の議論及び方向づけ等を踏まえて、札幌市の都心のまちづくりに関連する施策・計画・事業等を総合的に展開するため、庁内連絡会議を設置するとともに、関係各課に対する個別ヒアリングを随時行った。

# 第 章 目標と方針

## 1 まちづくりの目標

### これからの時代の 生活・文化をつくる

成熟社会に対応した  
都市生活の魅力を誰  
もが十分に味わえる  
都心

### “世界都市さっぽろ” をつくる

国の枠組を越えネッ  
トワーク社会に対応  
した“世界都市さっ  
ぽろ”の魅力を発揮  
し続ける都心

都心のまちづくりは、「北方圏の拠点都市」、「新しい時代に対応した生活都市」（札幌市基本構想）の2つの都市像の具体化を先導する場をつくることを目指すものである。

札幌は、20世紀における都市化の進展に対応するための計画的な都市づくりにより、時々の市民の生活や産業の需要に対応することを精力的に進めてきた。今後は、これまでに構築した都市基盤を有効に活用し、多様な価値観、属性の人びとの生活の質を高めていくことがまちづくりの中心課題となり、これを都心が先導していく必要がある。

また世界的な都市間競争の中で確固たる地位を確保するため、市民生活の質を高めることについて札幌がひととき優れたまちづくりを展開すること、すなわち、まちづくり自体によって世界都市となることを目指し、これを都心で象徴的に表現していく必要がある。

このことにより集客交流の活性化、新たな産業育成、さらには独自の都市文化の創造が展望され、市民生活の質のさらなる向上へとつながっていくことが期待される。

## 2 目標実現に向けた方針

### 2.1 まちづくりの方針と基本的な取組み

#### 1 安心と快適のまちづくり

様々な世代・世帯の人々が、都市の魅力を享受しながら安心して活動できる都市環境を確保する。

##### 1-1 都心居住を促進・誘発する

医療・福祉・文化など、さまざまな機能と複合した居住環境の創出  
多様な就業形態やライフスタイルを可能にする居住機能の確保

##### 1-2 環境との共生を先導する

環境との共生に配慮した市街地の形成  
エネルギー有効活用の促進  
緑を感じる街並みの形成

##### 1-3 回遊性・快適性を高める

歩行者空間の拡充とユニバーサルデザインの導入  
来街者の活動を支える多様な情報提供システムの確立  
地上・地下歩行者空間の連携の強化  
人と車が共存できる交通システムの構築

#### 2 五感にひびくまちづくり

四季折々の魅力にあふれる都市空間と、世界へ誇れる新しい札幌のライフスタイルを創造する。

##### 2-1 季節感を演出する空間を形成・活用する

四季の魅力を生かした屋外空間の活用、イベントの開催  
屋内外、地上・地下を含めた公共空間のネットワーク化

##### 2-2 人々が誇りと愛着を持てる新しい都市文化を育む

新たな文化活動を多様に展開できる機能・施設の整備  
豊かな時を過ごせる公共空間の形成  
札幌の特性、魅力を表現する通り・広場の形成

#### 3 先人の記憶が残るまちづくり

先人が札幌の都市づくりに込めた思いや遺産を継承し、札幌の個性と魅力をよりいっそう伸ばす。

##### 3-1 場所の持つ歴史的役割を継承する

札幌の都市形成を支えた基盤や産業活動の場の再活用による新しい活動の展開  
歴史的資源を活かした都市空間の形成

##### 3-2 まちづくりへの姿勢を継承する

進取の気風に根ざしたまちづくりの提案、実行  
まちづくりを創造的に先導する人材、組織の活用、支援

## 4 札幌の魅力が世界へとどくまちづくり

札幌の魅力を象徴する機能集積や空間形成を進め、キラリと光る札幌の個性を世界へ向け発信する。

- 4-1 札幌の魅力と活力を端的に示す  
多面的で質の高い都市文化を表現する活動、イベントの展開  
札幌の個性を伝える街並み・空間の形成
- 4-2 快適な活動環境を整える  
都心で活動する人の活用によるホスピタリティの向上  
さまざまな媒体による情報の提供
- 4-3 世界へ向けて発信する  
まちづくりの意思、方向性の明示  
多様なメディアを活用した札幌の魅力の国内外へのアピール

## 5 市民の夢を支援するまちづくり

こころの豊かさや自己実現をめざす市民のニーズに応えるために、活動の場や機会を提供するなど、多面的に支援する。

- 5-1 多様な活動を支援・育成する  
新しい文化、産業を生み出す活動のための場、機会、情報の提供  
公共的空間の柔軟で多面的な活用

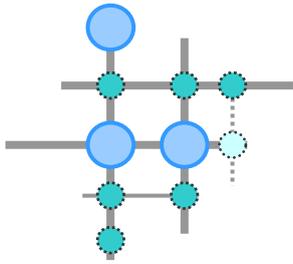
## 6 新たな産業、出会いが生まれるまちづくり

人材・情報の集積とネットワーク化を通じて、新たな産業活動や交流を生み出し、札幌の活力を引き出す。

- 6-1 さまざまな情報や人材の集積・交流を促す  
集積・交流のための拠点の形成  
市内各所での質の高いイベント、コンベンションを可能にするサービス、情報の提供
- 6-2 人材の育成・ネットワーク化を促進する  
新しい技術や知識を習得するための場や機会の提供  
国際的な人的ネットワークを構築するための機能の充実

## 2.2 都心のまちづくりを支える空間構成

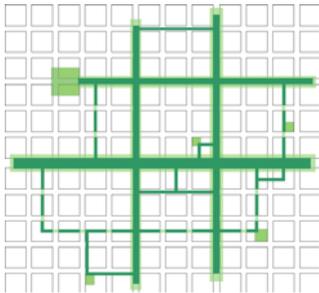
### 主要な結節点の特徴づけ



格子状に形成されている道路網の中で、歩行者が都心の構造を理解し方向性を確認するための手がかりとするとともに、まち歩きの快適性を確保するため、主要な通りが交差する結節点を特徴のあるものとする。

そこでは、情報提供、休憩、滞留などを可能にする公共的機能を確保するとともに、特色のある空間を形成する。

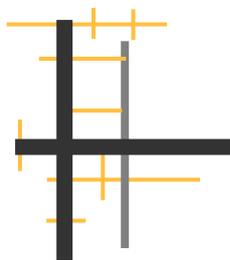
### オープンスペースのネットワークの形成



回遊性を向上させ、まちの奥行きを演出するため、表通りに加えて中通や屋内外の通路を歩行者動線として配置・活用して、オープンスペースのきめ細かなネットワークを形成する。

その際、公共的機能を持つ施設や広場の空間への行きやすさの確保に配慮する。

### 地下空間のネットワークの形成



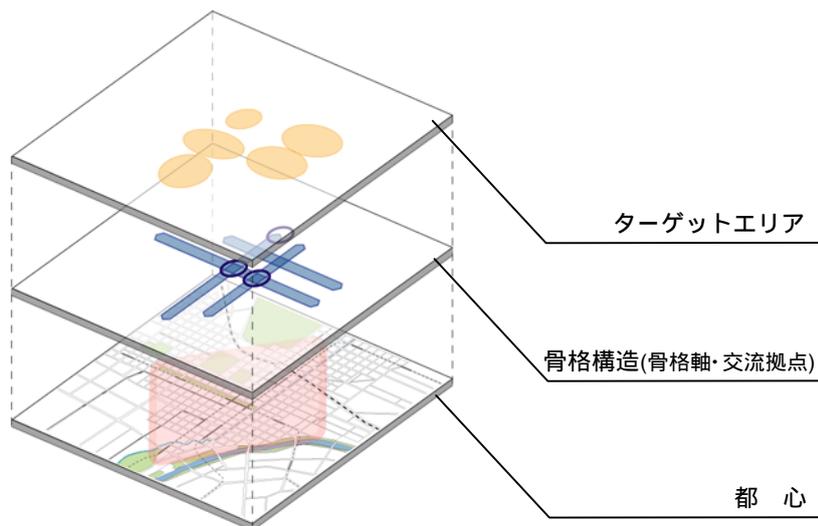
季節や天候、歩行者の目的、属性に応じて、移動のための空間の選択性を高めるため、地下空間のネットワークを形成する。

その際、駅前通及び大通を基軸に、また西2丁目通を補助的な軸として、これらから街区内地下空間を派生的に連携していく。

# 第 章 都心の構造とまちづくりの展開プログラム

## 1 都心の構造

### 1.1 構造の要素



都心のまちづくりを実現するための骨格構造として、長期総合計画に示されたまちづくりの構造（主要ゾーン、骨格軸）に加え、既存の資源やまちづくりの動向、関連する構想・計画・事業などの地区特性を踏まえ、都心のまちづくりを展開する際の拠り所となる要素として骨格構造（骨格軸、交流拠点）とターゲット・エリアを設定する。

#### 骨格構造

##### 骨格軸

都心で展開される多様な都市活動や個々の開発の展開を有機的に結びつけ、目標実現に向けたさまざまな取組みを促進するための基軸として、中心となる通り及びその周辺を含めた範囲を位置づける。

##### 交流拠点

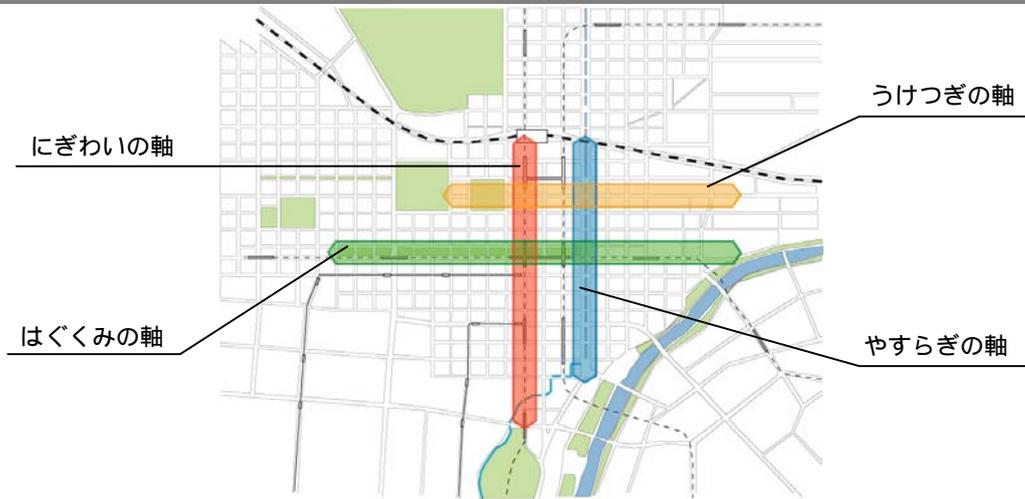
新たな活動や交流を生み出し都心全体のまちづくりを先導する点として、骨格軸の交点や、多様な機能・活動等の集積が見込まれる交通結節点を位置づける。

#### ターゲット・エリア

骨格軸及び交流拠点の形成を戦略的に展開するため、これらと連動して面的な広がりでもまちづくりを展開すべき地区を位置づける。

## 1.2 骨格構造

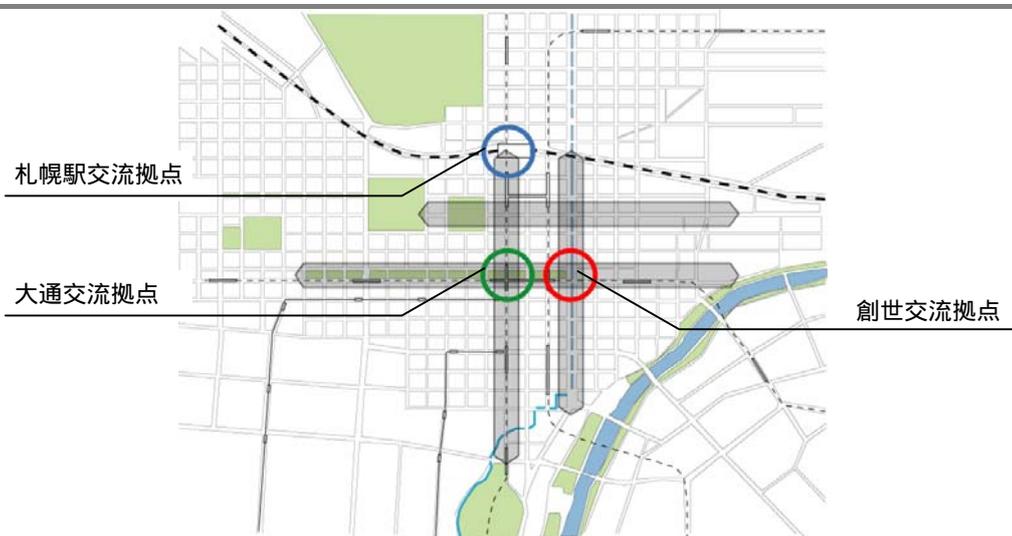
### 1) 骨格軸



第4次札幌市長期総合計画において「特有の役割や歴史的価値を持った動線であり、都心で展開される開発や都市活動の基軸となるとともに、各地区の連携や人々の移動を支えるもの」として位置づけられている次の4つの軸とする。

<b>にぎわいの軸</b> (駅前通)	〔目標〕 札幌の目抜き通りとしてのにぎわい、多様性、美しさの創出 都心の楽しさを味わいながら歩くことができるストーリー性 のある通りの形成
<b>はぐくみの軸</b> (大通)	〔目標〕 オープンスペースでの人の活動が多様で豊かに展開できる場 や機会の中心提供 周辺機能と大通公園との連携による、多様で魅力的な芸術・ 文化活動や都心居住を育む環境の創出
<b>やすらぎの軸</b> (創成川通)	〔目標〕 水辺環境と呼応する良質で落ち着きのある活動空間の形成と 新しい都市文化を創出する場の創出 東西市街地の分断要素から連携要素への質的な転換
<b>うけつぎの軸</b> (北三条通)	〔目標〕 札幌の都市形成を支えた歴史的価値を継承し、新たな魅力の 創出による都心の発展を、将来に、また東方向へつなげてい く

## 2) 交流拠点



多様な機能・活動等の集積が見込まれる骨格軸の交点、交通結節点である次の3つの拠点とする。

### 札幌駅 交流拠点

〔目標〕

広域的な文化機能の導入、優れた都市景観の創出による拠点性の向上

### 大通 交流拠点

〔目標〕

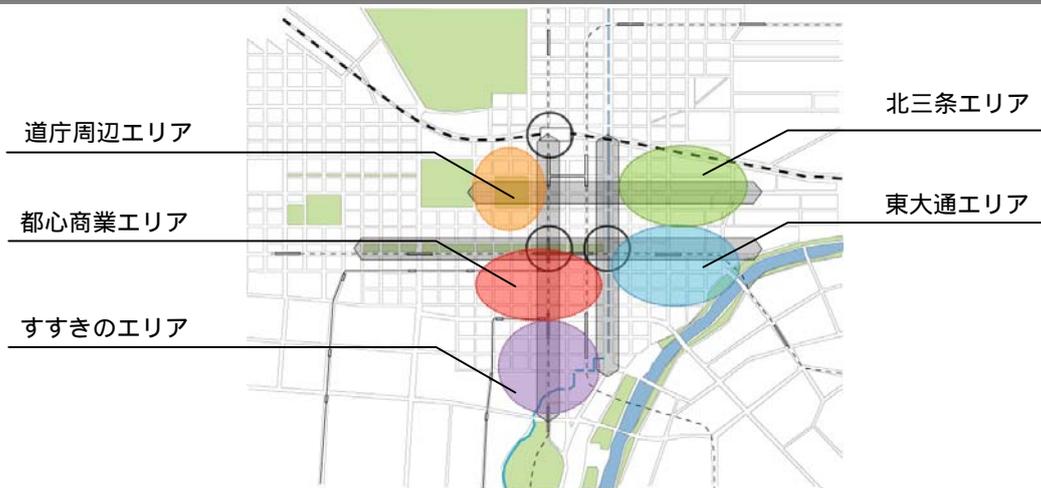
人びとの多様な交流を支援し、都心内の中心性を象徴的に表現する「サッポロ広場」の形成

### 創世 交流拠点

〔目標〕

「はぐくみの軸」「やすらぎの軸」の形成を先導する機能の導入と、都心のまちづくりのモデルとなるような都市空間の形成

## 1.3 ターゲット・エリア



骨格軸及び拠点の形成を戦略的に展開するため、軸・拠点の形成と連動してまちづくりを展開すべきまとまりを持ったエリアとして、右の視点に複数該当する次の5地区とする。

視点1：都市開発動向の顕在化  
 視点2：まちづくりへの活発な取組み  
 視点3：開発余地の多さ  
 視点4：重要な公共空間との関連性の強さ  
 視点5：市民・来訪者の利用度の高さ

### 都心商業エリア 〔視点1・2・5〕

〔まちづくりの目標〕

豊かで多面的な時間消費を支える商業地の形成  
 商業と多様な都心居住を主体とする複合的機能を有する市街地の形成  
 各商店街の特徴付けによる回遊性の向上

### 道庁周辺エリア 〔視点1・3・4〕

〔まちづくりの目標〕

「うけつぎの軸」の基点として、北海道庁街区の価値と呼応する機能・空間の確保による一帯の集客交流資源としての質的向上

### 北三条エリア 〔視点1・3〕

〔まちづくりの目標〕

新たな産業育成・オープンスペース・ネットワークの具体化と、これを苗穂方面へつなぐ新たな市街地の形成  
 新たなエネルギーシステムの構築等による創成川以東における環境共生型市街地の拠点の形成

### 東大通エリア 〔視点3・4〕

〔まちづくりの目標〕

大通の延伸と新たな産業育成、都心居住の促進  
 新たなエネルギーシステムの構築とオープンスペースのネットワーク化による環境共生型市街地の形成

### すすきのエリア 〔視点2・5〕

〔まちづくりの目標〕

都心の多面性の一翼を担う地区としての安心感と魅力の向上  
 情報提供機能の向上などによる集客交流資源としての質的向上



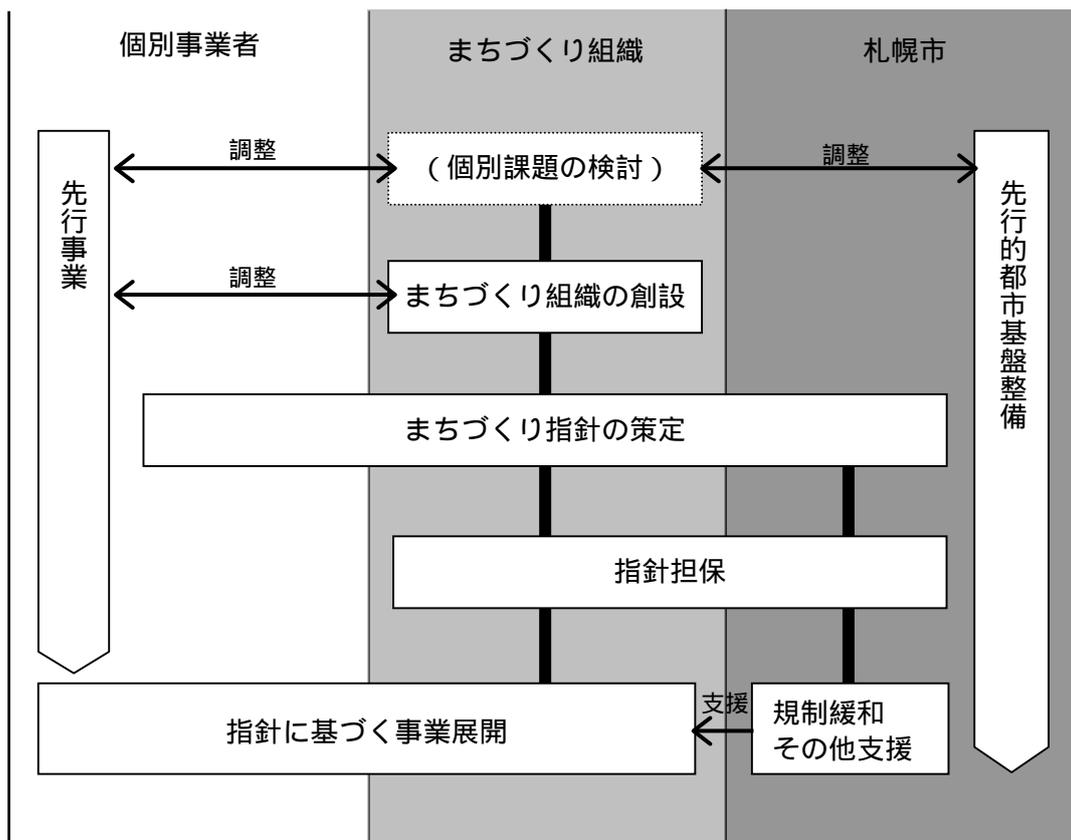
## 2 都心まちづくりの展開プログラム

### 2.1 骨格軸・交流拠点の形成目標とプログラム

骨格軸及び交流拠点の展開プログラムとして、以下の項目を設定する。

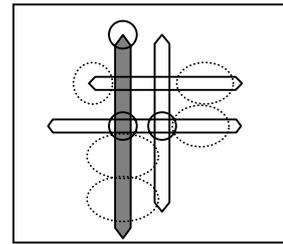
軸・拠点形成の目標、主要課題  
目標実現のための取組み、推進主体と役割  
軸・拠点形成の手順とまちづくり組織の活動  
優先的に実施すべき取組み

〔基本的な流れ〕



## 2.1.1 骨格軸

### にぎわいの軸（駅前通）



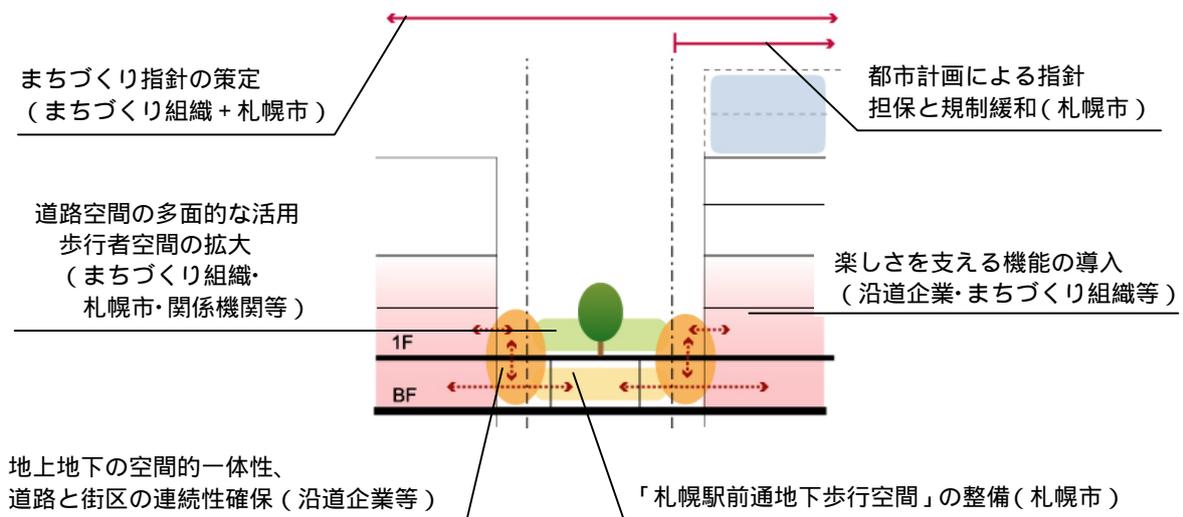
#### 軸形成の目標

札幌の目抜き通りとしてのにぎわい、多様性、美しさを創出する。  
都心の楽しさを味わいながら歩くことができるストーリー性のある通りを形成する。

#### 軸形成のための主要課題

地上及び地下における重層的な歩行者空間ネットワークの形成  
まち歩きを楽しく快適なものにするための公共空間等の多面的な活用  
にぎわいを呼ぶ沿道機能の連続的な確保  
情報提供機能、休憩・滞留支援機能等の確保  
特徴のある結節点の形成

（形成イメージ 大通以北）



## 1) 目標実現のための取組みと手順

### ▶ 歩行者空間ネットワークの形成

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
「札幌駅前通地下歩行空間」の整備（大通以北）	<b>札幌市</b> ：「札幌駅前通地下歩行空間」の整備
沿道建築物の更新・改修による歩行者空間ネットワーク（地上/地下）の形成	<b>沿道企業等</b> ：まちづくり指針に即した事業展開 <b>札幌市</b> ：事業に対する支援
地上歩行者空間の拡充	<b>沿道企業等</b> ：道路・街区間での連携確保 <b>札幌市</b> ：歩行者空間の拡充

### ▶ 公共空間等の多面的活用の促進

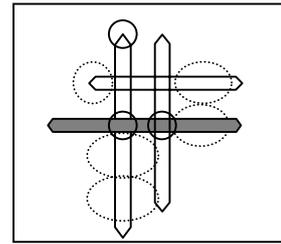
〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
道路空間の多面的な活用	<b>まちづくり組織</b> ：多様なイベント等の企画・運営、活用方策の検討と具体化への調整 <b>札幌市</b> ：実験的取組みの企画、施設管理運営上の支援
公共的空間（公開空地等）の多面的な活用	<b>まちづくり組織・NPO・民間企業等</b> ：にぎわいを生み出す活動の多面的展開 <b>札幌市</b> ：施設管理運営上の支援

### ▶ 沿道建築物の更新、改修による軸形成の誘導

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
主要な結節点の特徴づけ （情報提供機能、滞留機能の確保、地上・地下の一体的空間整備、四辻の統一性のある空間創出、公共的空間の確保等）	<b>まちづくり組織</b> ：形成方針の検討 <b>沿道企業等</b> ：形成方針に即した事業展開 <b>札幌市</b> ：事業に対する支援
建物低層部の更新によるにぎわいを創出する機能の確保	<b>沿道企業等</b> ：まちづくり指針に即した事業展開 <b>札幌市</b> ：事業に対する支援
軸性を演出する景観の形成	<b>沿道企業等</b> ：まちづくり指針に即した事業展開 <b>札幌市</b> ：事業に対する支援



## はぐくみの軸（大通）



### 軸形成の目標

オープンスペースでの人の活動が多様で豊かに展開できる場や機会を都心の中で中心的に提供する。  
周辺の機能と大通公園との連携により、多様で魅力的な芸術・文化活動や都心居住を育む環境を創出する。

### 軸形成のための主要課題

人の活動が豊かに営まれることを可能にする大通公園の魅力向上  
人の容易なアクセスを可能にする歩行者空間ネットワークの形成  
オープンスペースにおける人の多様な活動を可能にするための公共空間の活用  
魅力的なオープンスペースと連携する沿道機能の誘導  
大通の東方向への延伸と都心居住環境の整備の一体的推進

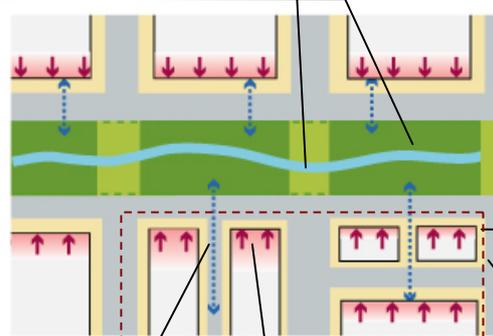
### （形成イメージ）

大通公園の多面的活用

大通公園の段階的な連続化

（まちづくり組織・札幌市・関係機関等）

大通の延伸（札幌市・  
地権者・企業等）



地区別のまちづくり  
指針の策定（まちづ  
くり組織+札幌市）

都市計画による指針担保  
と規制緩和（札幌市）

大通公園への通り抜け  
を可能にする歩行者動  
線の確保（沿道企業等）

大通公園へ顔を向けた沿道空  
間・機能の整備、公共的空間の  
多面的活用（沿道企業等）

## 1) 目標実現のための取組みと手順

### ▶ 公共空間等の多面的な活用

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
四季を通じた大通公園の多面的活用の促進	<b>まちづくり組織・NPO・民間企業・市民等</b> ：多様なイベント等の企画・運営 <b>札幌市</b> ：施設管理運営上の支援、公園の連続化に関わる実験的取組みの企画・調整
公共的空間の多面的な活用促進	<b>まちづくり組織・NPO・民間企業・市民等</b> ：多様なイベント等の企画・運営 <b>札幌市</b> ：施設管理運営上の支援

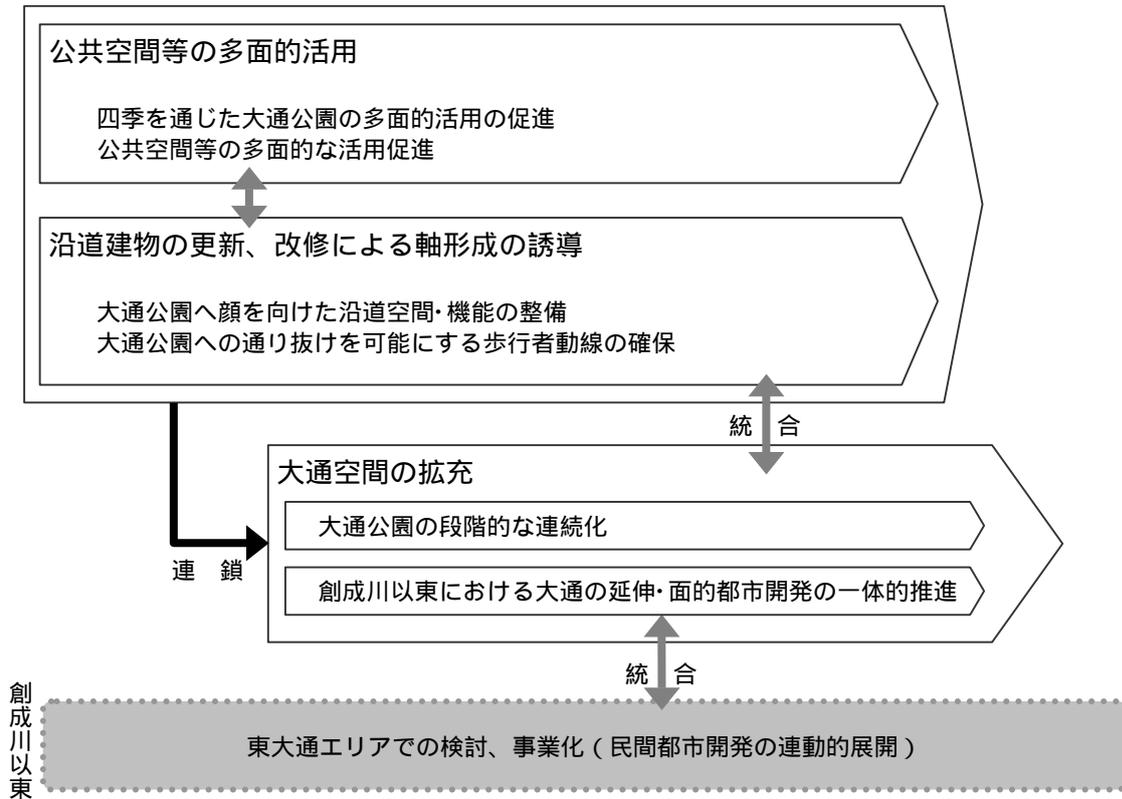
### ▶ 沿道建物の更新、改修による軸形成の誘導

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
大通公園へ顔を向けた沿道空間・機能の整備	<b>沿道企業等</b> ：まちづくり指針に即した機能の確保
大通公園への通り抜けを可能にする歩行者動線の確保	<b>沿道企業等</b> ：まちづくり指針に即した事業展開 <b>札幌市</b> ：事業に対する支援

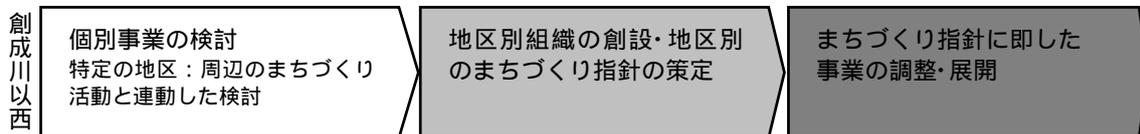
### ▶ 大通空間の拡充

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
創成川以東における大通の延伸と面的都市開発の一体的推進	<b>民間事業者</b> ：計画に即した事業展開 <b>札幌市</b> ：目標を実現する都市開発の誘発・支援
大通公園の段階的な連続化	<b>札幌市・まちづくり組織・TMO等</b> ：社会実験等による空間イメージの検討

〔取組みの手順〕



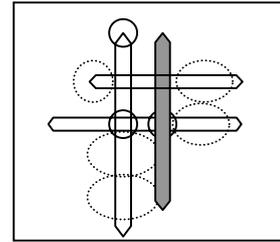
〔まちづくり組織の活動〕



2) 優先的に実施すべき取組み

- 周辺の動向と連動した地区別のまちづくり推進組織の創設とまちづくり指針の策定
- 公共空間等を活用した活動の展開
- 創成川以東地域の市街地整備目標と手法の検討

## やすらぎの軸（創成川通）



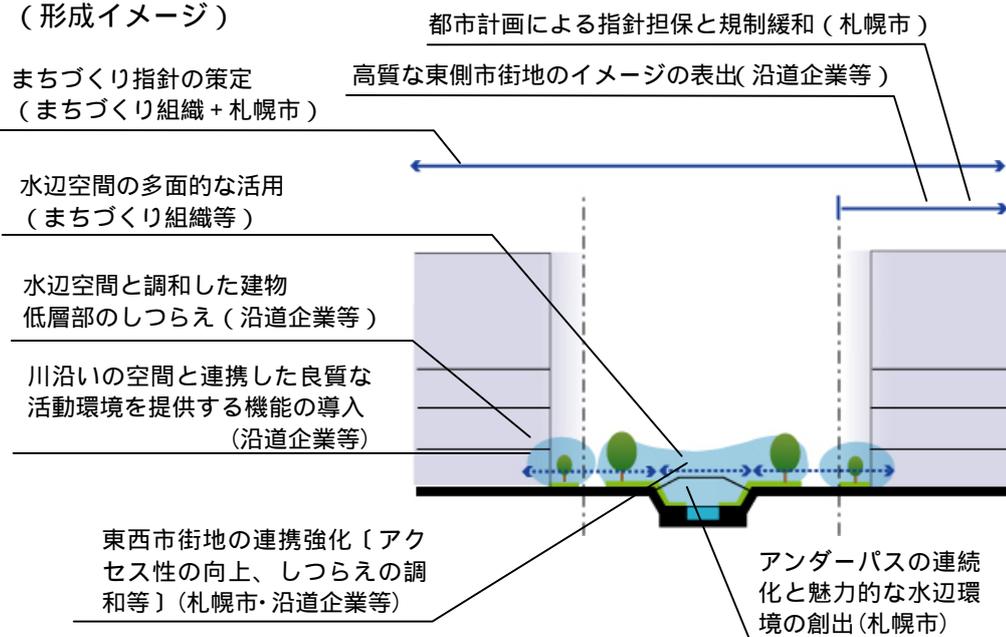
### 軸形成の目標

- 創成川が提供する水辺環境を最大限に活かし、これと呼応する良質で落ち着いた活動空間を形成し、新しい都市文化を創出する場を提供する。
- 東西市街地の分断要素から連携要素への質的な転換を図る。

### 軸形成のための主要課題

円滑な通過自動車動線の整備を契機とする魅力的な水辺環境の創出  
快適で落ち着ける活動を可能にするための公共空間等の多面的な活用  
水辺環境と呼応する沿道機能の誘導  
東側市街地の新たな居住環境の創出を誘発する機能と空間の誘導  
東西市街地の連携強化のためのきめ細かなしつらえを施すこと  
良質なデザインによる都市空間の創出

（形成イメージ）



## 1) 目標実現のための取組みと手順

### ▶ 新しい環境を生み出す都市基盤施設の整備

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
創成川通アンダーパスの連続化と魅力的な水辺環境の創出	<b>札幌市</b> ：創成川通アンダーパスの連続化、創成川の水辺空間としての再整備

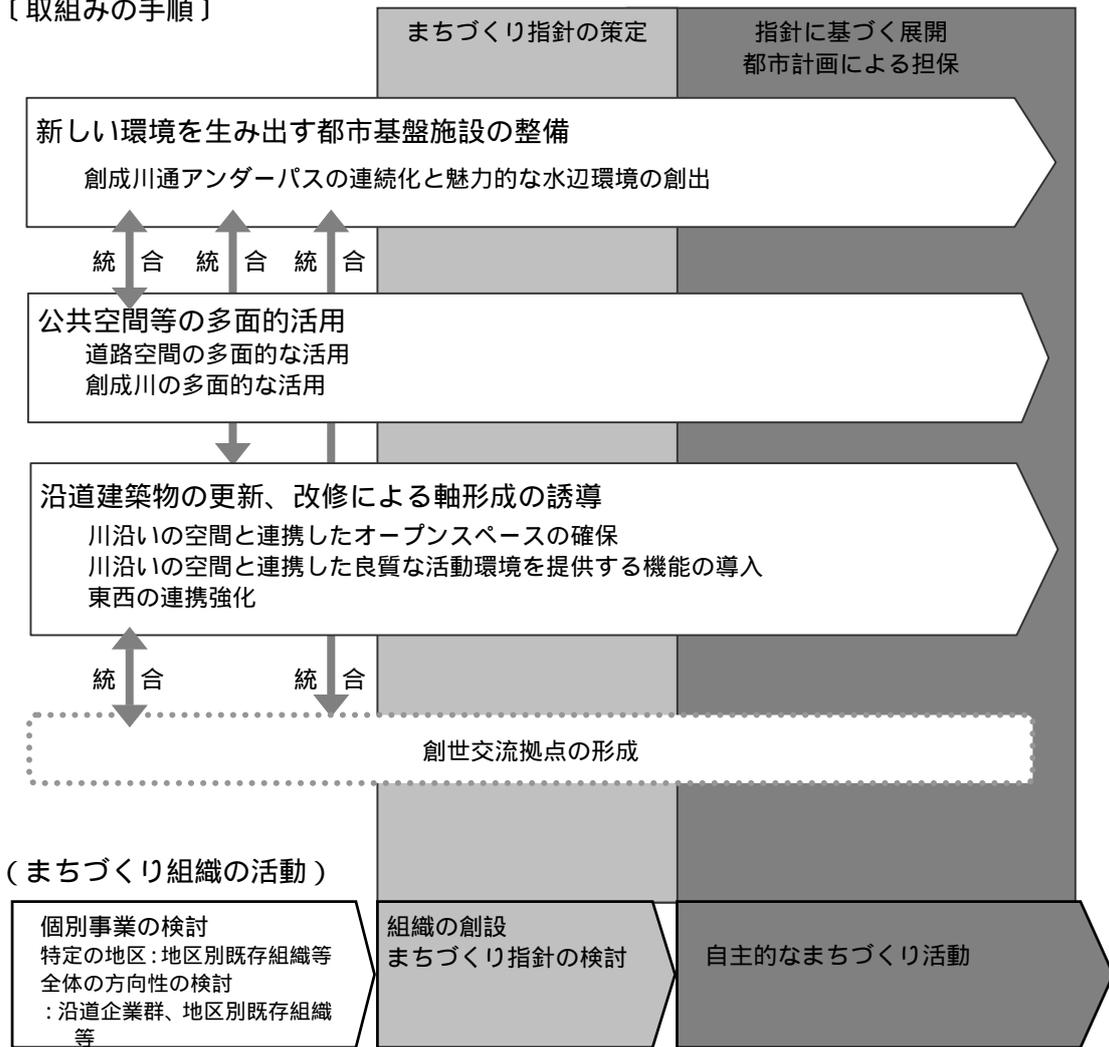
### ▶ 公共空間等の多面的活用の促進

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
親水空間としての創成川の多面的な活用	<b>まちづくり組織・NPO・民間企業・市民等</b> ：水辺を活用した多様な活動の企画・運営 <b>札幌市</b> ：施設管理運営上の支援、実験的取組みの企画・調整
道路空間の多面的な活用	<b>まちづくり組織</b> ：多様なイベント等の企画・運営、活用方策の検討と具体化への調整 <b>札幌市</b> ：施設管理運営上の支援

### ▶ 沿道建築物の更新、改修による軸形成の誘導

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
川沿いの空間と連携したオープンスペースの確保	<b>沿道企業等</b> ：まちづくり指針に即した事業展開 <b>札幌市</b> ：事業に対する支援
川沿いの空間と連携した良質な活動環境を提供する機能の導入（芸術・文化機能、宿泊機能、居住機能など）	<b>沿道企業等</b> ：まちづくり指針に即した事業展開
東西市街地の連携強化（アクセシビリティの向上、しつらえの調和等）	<b>沿道企業等</b> ：まちづくり指針に即した事業展開 <b>札幌市</b> ：事業に対する支援

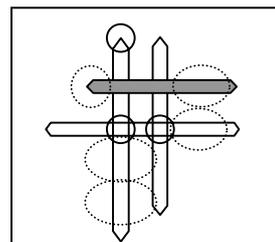
〔取組みの手順〕



2) 優先的に実施すべき取組み

- 地区別まちづくり組織の発足とまちづくり指針の策定
- 創成川通、創成川の再整備
- 公共空間等の活用策の具体化

## うけつぎの軸（北三条通）



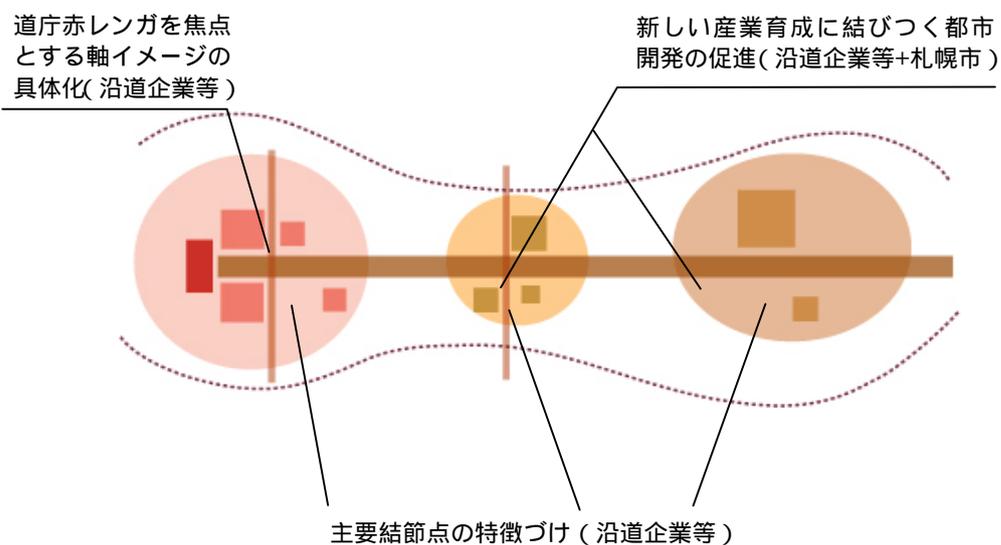
### 軸形成の目標

札幌の都市形成を支えた歴史的価値を継承し、新たな魅力と活動の創出による都心の発展を、将来に、また東方向へつなげていく。

### 軸形成のための主要課題

新しいエネルギーシステムの構築など、新たな産業育成に結びつく拠点  
的都市開発  
環境と共生した都心居住を実現する市街地整備の推進  
歴史的資源を活かした軸の性格づけ

### （形成イメージ）



## 1) 目標実現のための取組みと手順

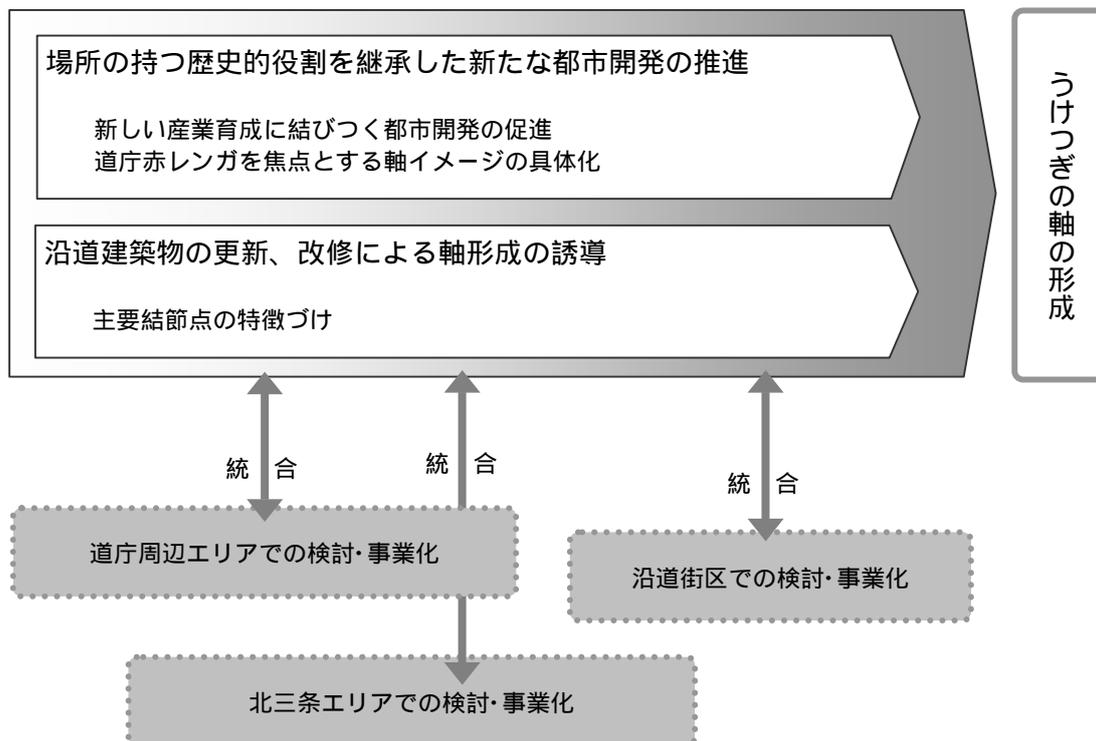
### ▶ 場所の持つ歴史的役割を継承した新たな都市開発の推進

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
新しい産業育成に結びつく都市開発の促進	<b>沿道企業等</b> : 新たな産業育成の拠点となる都市開発の推進 <b>札幌市</b> : 目標を実現する都市開発への支援
道庁赤レンガを焦点とする軸イメージの具体化	<b>沿道企業等</b> : 道庁周辺エリアでの都市開発の調和的推進

### ▶ 沿道建築物の更新、改修による軸形成の誘導

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
主要結節点の特徴づけ	<b>沿道企業等</b> : 地区ごとの特徴を活かした都市開発の促進

#### 〔取組みの手順〕

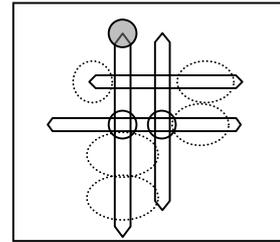


## 2) 優先的に実施すべき取組み

道庁周辺エリア・北三条エリアにおけるまちづくりの方向性の検討と事業化支援

## 2.1.2 交流拠点

### 札幌駅交流拠点



#### 拠点形成の目標

広域的な文化機能の導入や優れた都市景観の創出により拠点性を高める。

#### 拠点形成のための主要課題

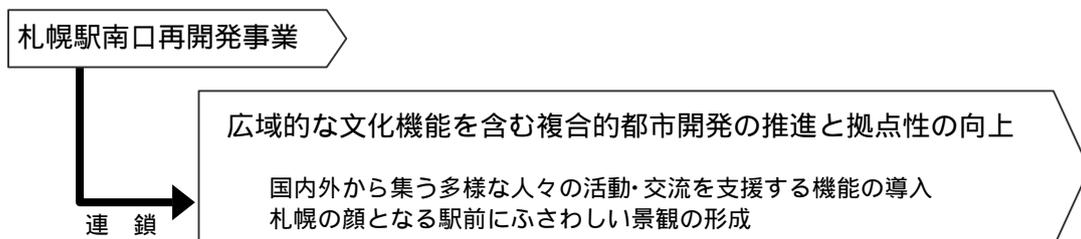
国内外から訪れる人々の多様な活動・交流を支える機能の導入  
 拠点性を高めるサービスの提供  
 札幌の顔にふさわしい景観の形成

### 1) 実現すべき取組みと手順

#### ▶ 広域的な文化機能を含む複合的都市開発の推進と拠点性の向上

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
国内外から集う多様な人々の活動・交流を支援する機能の導入(情報受発信機能、交流機能など)	<b>周辺企業・札幌市等</b> ：新たな機能の導入
札幌の顔となる駅前にふさわしい景観の形成	<b>周辺企業</b> ：景観形成基準の検討と基準の遵守 <b>札幌市</b> ：景観形成地区の指定と基準に即した誘導

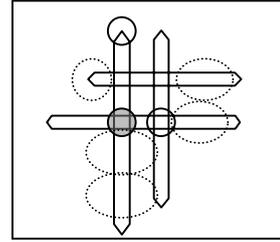
#### 〔取組みの手順〕



### 2) 優先的に実施すべき取組み

景観形成地区の指定  
 新たな機能導入の具体化

## 大通交流拠点

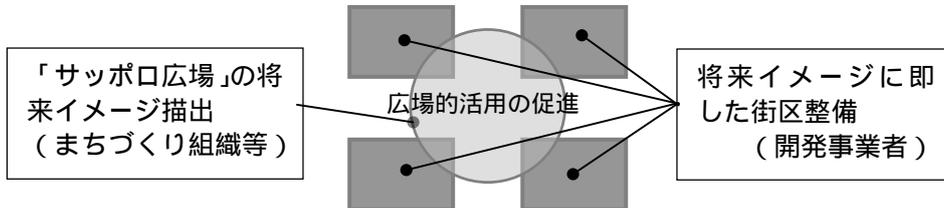


### 拠点形成のための主要課題

市民や札幌を訪れる人々の多面的な交流を支える機能の誘導  
 歩行者のための、わかりやすくゆとりのある空間の形成  
 建築物と公共空間の調和による象徴的空間の形成

### 拠点形成の目標

人びとの多様な交流を支援するとともに都心内での中心性を象徴的に表現する「サッポロ広場」を形成する。



## 1) 実現すべき取組みと手順

### ▶ 周辺建築物の更新、改修による拠点形成の誘導

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
多様な交流支援機能の確保 地上・地下の空間的連続性の確保 人の滞留を可能にする公共的空間の確保 都心の中心性を象徴する景観の形成	<b>周辺企業</b> : 将来イメージに即した事業展開 <b>札幌市</b> : 目標を実現する都市開発への支援

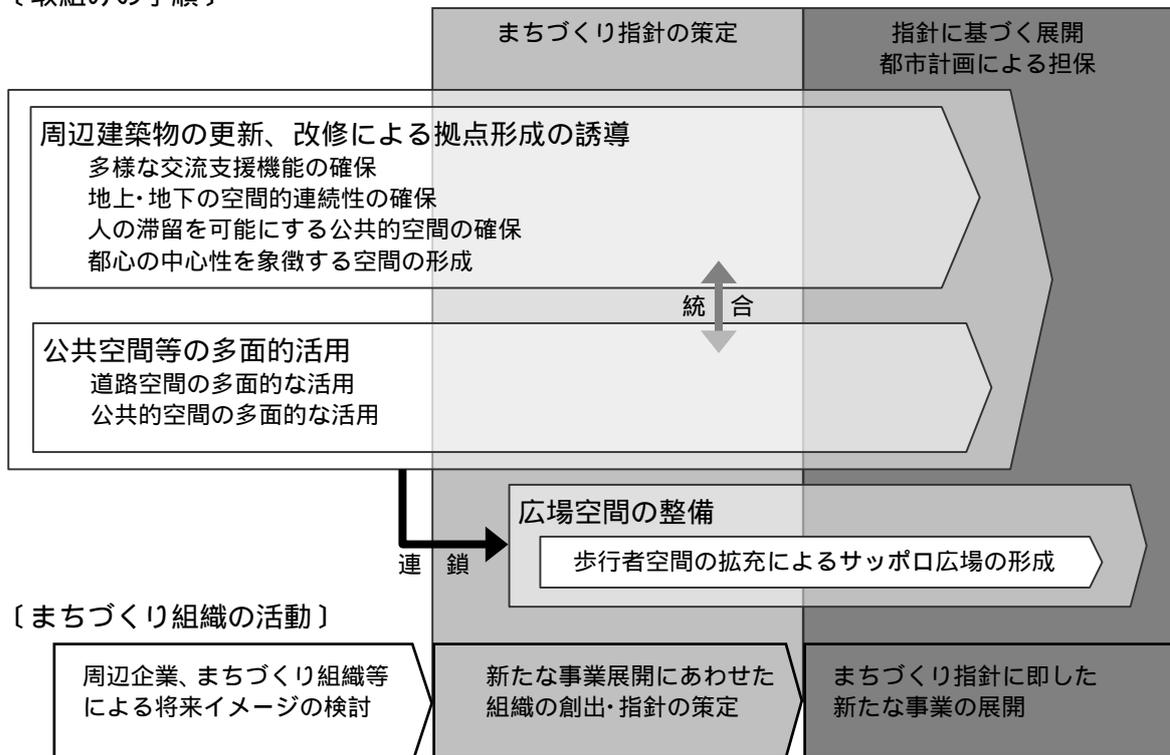
▶ 公共空間等の多面的活用

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
道路空間の多面的な活用	<b>民間事業者・市民団体・まちづくり組織等</b> : 多様なイベント等の企画・運営、活用方策の検討と具体化への調整 <b>札幌市</b> : 実験的取組みの企画、施設管理運営上の支援
公共的空間（公開空地等）の多面的な活用	<b>まちづくり組織・NPO・民間企業等</b> : にぎわいを生み出す活動の多面的展開 <b>札幌市</b> : 施設管理運営上の支援

▶ 広場空間の整備

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
歩行者空間の拡充による“サッポロ広場”の形成	<b>沿道企業等</b> : 道路・街区間での連携確保 <b>札幌市</b> : 歩行者空間の拡充

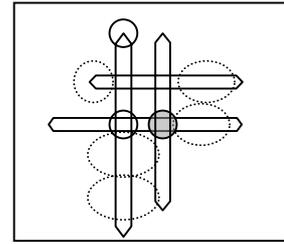
〔取組みの手順〕



2) 優先的に実施すべき取組み

将来イメージの検討

## 創世交流拠点



### 拠点形成の目標

「はぐくみの軸」「やすらぎの軸」の形成を先導する機能を導入するとともに、水辺空間との連携やオープンスペース・ネットワークの実現など、これからのまちづくりのモデルとなる都市空間をつくる。

### 拠点形成のための主要課題

都心の新たな発展に向けた拠点の再生  
 大通の連続化や創成川以東地域の発展などの先導  
 計画の一体性・統合性の確保  
 行政と民間のパートナーシップによる段階的事業化

## 1) 実現すべき取組みと手順

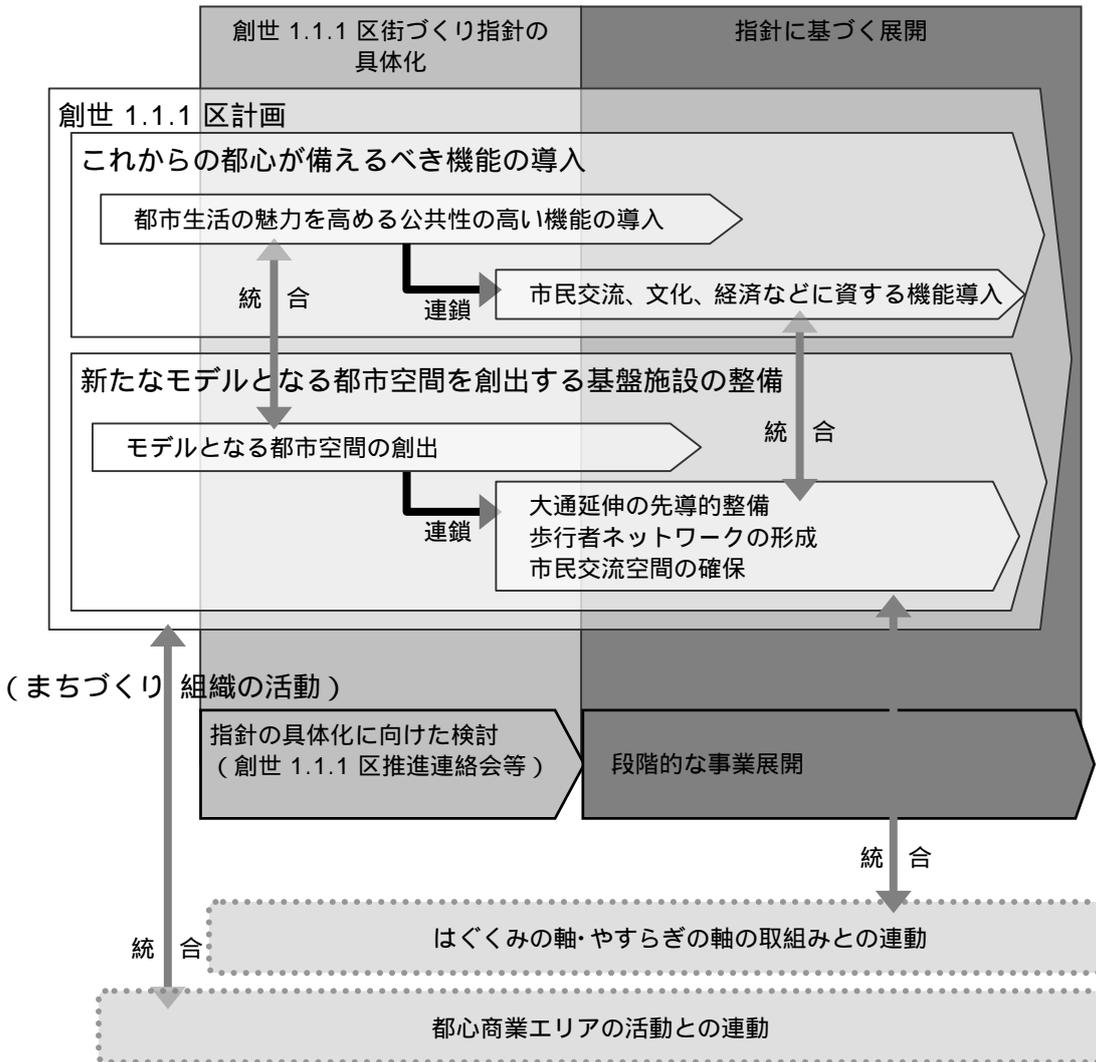
### ▶ これからの都心が備えるべき機能の導入

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
都市生活の魅力を高める公共性の高い機能の導入	<b>札幌市・地権者</b> : 都心にふさわしい機能を導入する拠点開発の推進 <b>札幌市</b> : 目標を実現する拠点開発への支援

### ▶ 新たなモデルとなる都市空間を創出する基盤施設の整備

〔取組み〕	〔推進主体と役割〕
新たなモデルとなる都市空間の創出	<b>札幌市等</b> : 都市基盤ネットワークのモデルとなる拠点開発の推進

〔取組みの手順〕



2) 優先的に実施すべき取組み

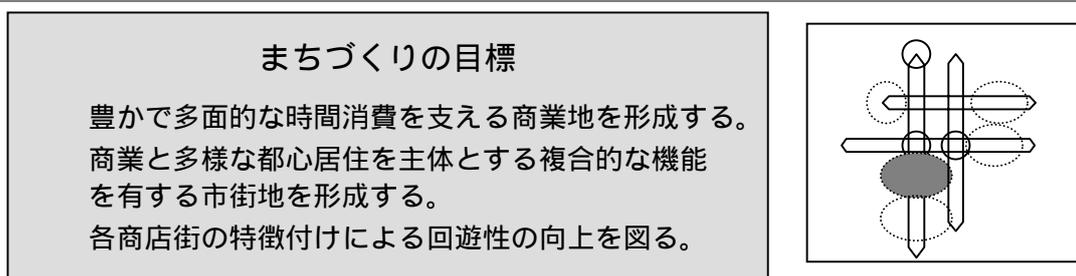
- 拠点形成イメージの確立
- 大通西1丁目街区の先行的整備
- 創成川通アンダーパスの連続化

## 2.2 ターゲットエリアのまちづくりの展開

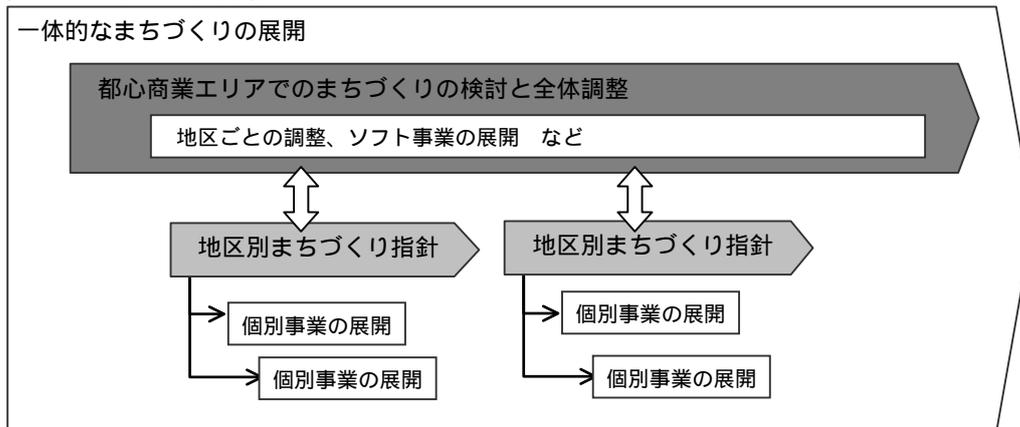
ターゲットエリアでは、より小さな単位での個別の課題や詳細な目標の設定を行い、人と車の共存、新たな経済活動・交流活動を支える機能の導入、都心居住の促進、緑化の推進など、本計画のまちづくりの方針（第 4 章・2）を具体化する。

このため、商店街、都市開発事業者等の主体的な取組みを積極的に誘導・支援する。

### 都心商業エリア



#### （まちづくりの展開）



#### 【まちづくりの展開】

主として6つの商店街で構成される本エリアでは、6商店街理事長会、札幌中心部商店街活性化協議会による全体のまちづくり推進体制が整えられていることに加え、南1条地区開発事業推進協議会などの地区単位の具体的なまちづくり組織による活動が活発に行われている。

これらを活かしながら、協働的かつ実践的にまちづくりを進めるため、個別具体的な取組みを全体との調整を図りつつ積み重ねていく必要がある。このため、次頁のような推進体制を段階的に構築することを基本としてまちづくりを展開する。

### まちづくり推進組織

複数の主体による複数の事業を有機的・一体的に実施することにより、まちづくりの方針の具体化、骨格軸・交流拠点の形成など、都心のまちづくりを先導し得る地区において、街区単位のみとまりで主体的にまちづくりを展開する組織を創設し、当該地区のまちづくりプログラムを策定する。このような取組みをまちづくりの基礎単位とし、その積み重ねによって目標を実現していく。

### 個別の事業主体

まちづくり推進組織によるプログラムが策定されている地区では、個々の主体が同プログラムに即して事業を実施していく。

### エリア全域の調整組織

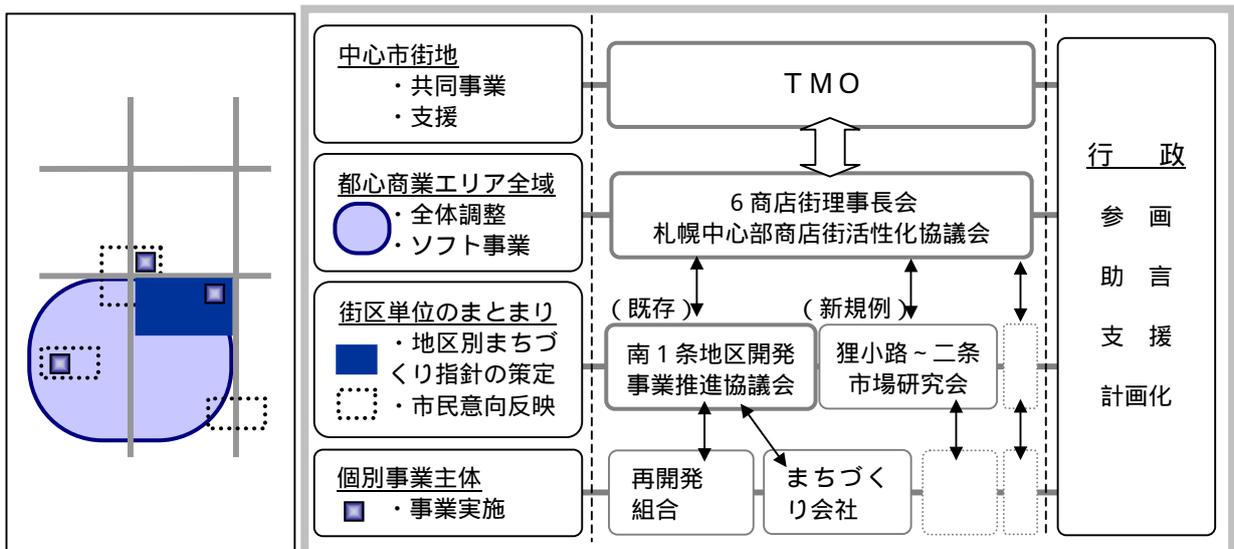
6商店街理事長会及び札幌中心部商店街活性化協議会が、本エリア全体のまちづくりの方向性を検討するとともに、これと各地区のプログラム、個別事業との整合性を調整する。また本エリア全域を対象とするソフト事業を実施する。

### TMO、行政

TMO<sup>1</sup>は、TMO構想に基づき、上記の3つの階層それぞれの組織・主体との共同事業の実施やこれらへの支援を行う。行政は、各主体とさまざまなかたちで連携関係を持ち、協働的なまちづくりを推進する。

1 中心市街地活性化基本計画に基づいて創設される認定構想推進事業者。当面は札幌商工会議所が担うことが予定されている。

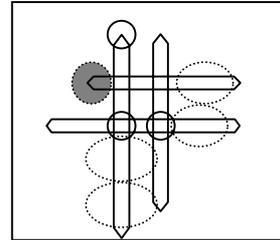
(推進組織体制のイメージ)



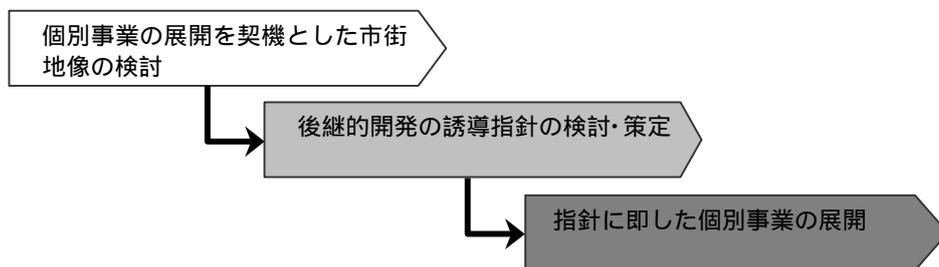
## 道庁周辺エリア

### まちづくりの目標

「うけつぎの軸」の基点として北海道庁街区の歴史的価値、オープンスペースとしての価値を活かし、これと呼応する機能・空間を周辺に確保することにより、一帯の集客交流資源としての質を高める。



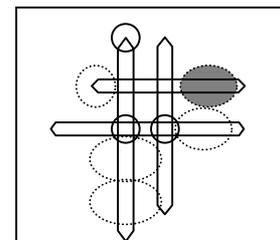
### (まちづくりの展開)



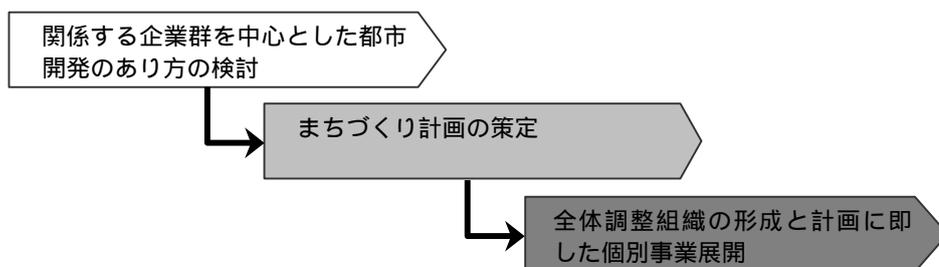
## 北三条エリア

### まちづくりの目標

「うけつぎの軸」の形成を促進し、新しい産業育成とオープンスペース・ネットワークを具体化し、これを苗穂方面へつなげていく市街地を形成する。新しいエネルギーシステムの構築等により創成川以東地域における環境共生型市街地の形成拠点をつくる。



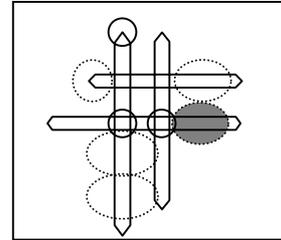
### (まちづくりの展開)



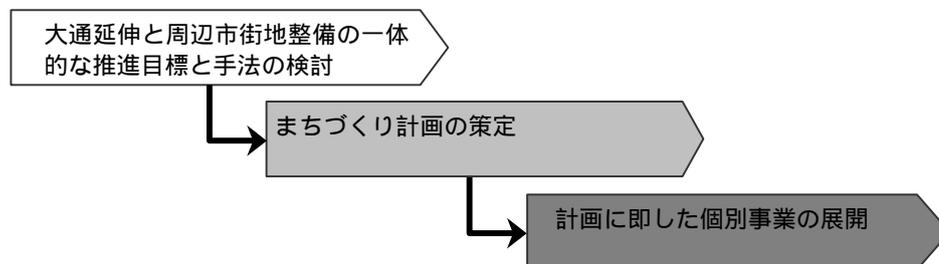
## 東大通エリア

### まちづくりの目標

大通の延伸とともに、これを軸とする新たな産業育成、都心居住を促進する市街地を、民間都市開発の連鎖的な展開により形成する。  
北三条エリアで構築する新たなエネルギーシステムの導入とオープンスペースのネットワーク化により環境共生型市街地を形成する。



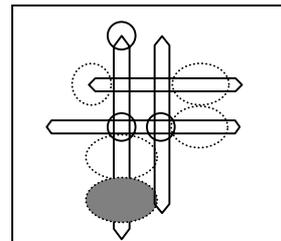
(まちづくりの展開)



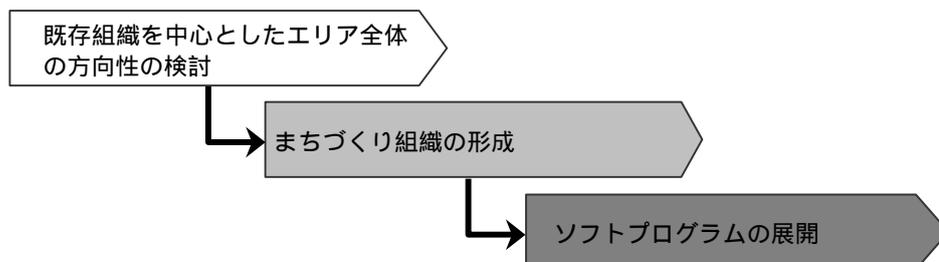
## すすきのエリア

### まちづくりの目標

- 都心の多面性の一翼を担う地区としての安心感と魅力を高める。
- 来街者への情報提供機能の向上などにより、集客交流資源としての質を高める。



(まちづくりの展開)





## 3.2 重点的取組み

### にぎわいの軸の形成

札幌駅～大通間の地下歩行者空間整備と沿道民間都市開発の展開を契機とし、軸形成を具体的に検討、推進するまちづくり組織を創設し、沿道建築物の誘導や公共空間の多面的活用のためのまちづくり指針を策定する。

### やすらぎの軸の形成

創成川通アンダーパスの連続化と創成川の再生による魅力的な水辺環境の創出及び創世交流拠点の先行街区整備の調和的な展開を契機とし、沿道建築物の誘導を進めるためのまちづくり指針を策定する。

### 都心商業エリア内個別地区のまちづくり指針策定

骨格軸、交流拠点の形成と当エリアの目標を具体化する街区単位の地区別まちづくり指針を、商店街組織やまちづくり組織による活動に応じて段階的に策定する。

### 東大通エリア・北三条エリアの高質環境形成の検討

民間都市開発の連鎖的な展開を基本として、大通の延伸と新しい市街地形成を一体的に進めることを具体化するため、その目標像、事業手法、制度運用等について検討する。

# 第 章 協働的、継続的なまちづくりの推進

## 1 協働性の確保

序章で設定した主体間の協働性確保のための4つの視点に対応して、以下のような具体的な取組みを進める。

### 視点1：各主体の役割の明確化（取組みの実施主体の明記）

本計画において、まちづくりの主体ごとに、基本的な役割を明記するとともに、本計画の実実施計画である中心市街地活性化基本計画において、具体的な事業主体及びTMOの役割を明らかにする。

### 視点2：主体間調整や民間組織への支援を行う中間的なまちづくり組織の創設

中間的な組織は、次の2つの階層で構成する。

#### 地区別組織

軸、拠点、ターゲットエリア等を単位とし、それぞれのまちづくりの方向性（指針）を行政やTMOと共に設定し、地区内の具体的取組みを調整、支援する。

このようなまちづくり組織は、関係権利者等により創設される場合、既存商店街組織等の新たな活動として具体化する場合、都市計画等の意思決定に同意するかたちでまちづくりの方向性を共有する場合など、さまざまな形態、強度が想定される。

#### TMO

民間によるまちづくり活動の誘導、支援、調整を行うとともに、行政との調整を行いつつ、新たな展開の発意やそのための事業の誘発、支援を行い、都心のまちづくりの要としての役割を果たす。

### 視点3：行政対応の一元化と迅速化

これからのまちづくりは、民間主体の都市開発、ソフトプログラム等を中心に展開すべきであり、行政はこれを誘発・支援するため、民間の活動への一元的かつ迅速な対応を行う。

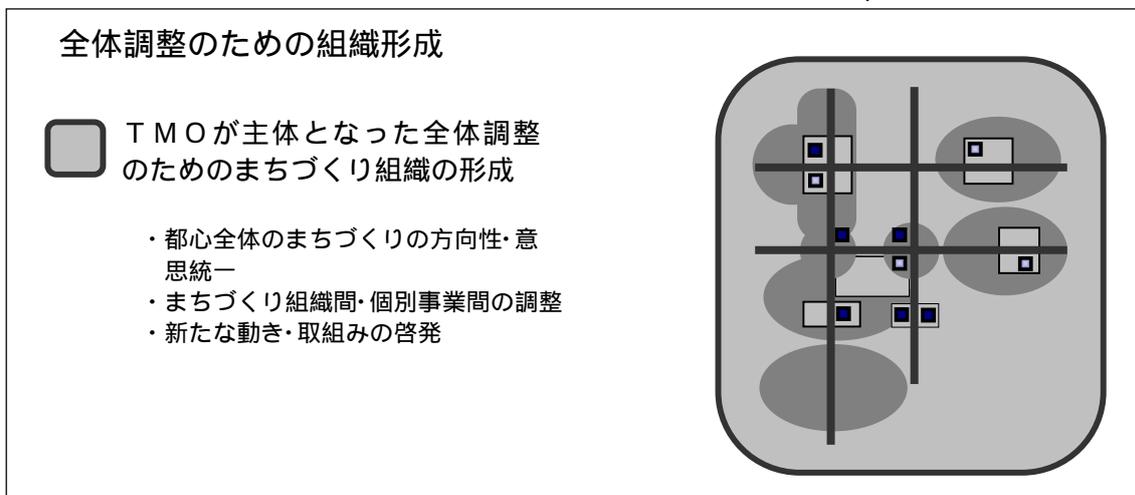
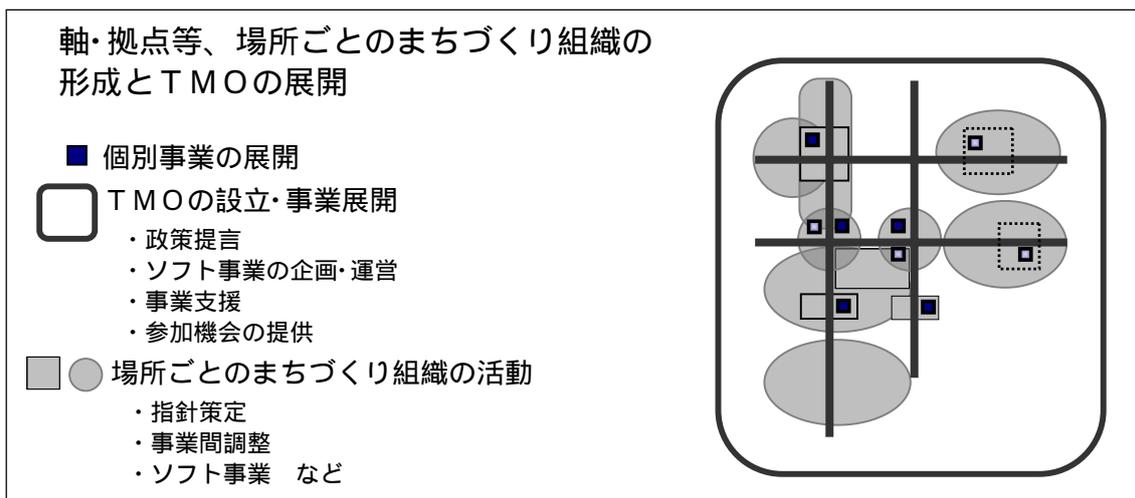
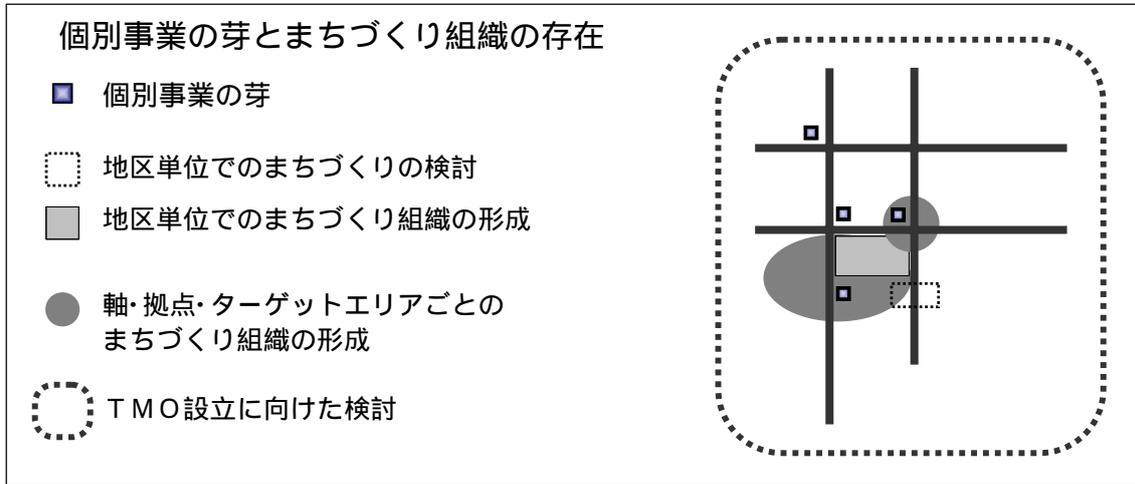
### 視点4：各主体が参加し、新たな方向性を柔軟、包括的に検討する場の設置

当面はTMOがこの役割を担い、個別組織の創設や活動の進捗に応じて、全体調整のための組織形成を目指す。

## 2 各主体の役割

個別 事業主体	まちづくり指針に即した事業の展開 都心を活用した多様な取組みの企画・展開
札幌市	基幹的都市基盤の整備 骨格構造の形成を先導する都市開発への支援（土地利用計画制度の運用、再開発事業の適用等） 公共的空間の多面的な活用に関わる施設管理運用上の支援 庁内調整及び対民間調整の一元的推進体制の構築と迅速化 市民・NPOによるまちづくり活動への支援
地区別 組織	骨格構造ごとのまちづくり指針の策定 指針に即した個別事業の調整・誘導 関係諸機関との調整 まちづくりへの市民意向の反映
TMO	まちづくりの新たな展開方向性の調査・研究と提案 地区の枠を越えたソフトプログラムの企画・運営 民間主体による個別事業の誘発・支援 都心のまちづくりの検討へ多くの人に参加できる場と機会の提供 市民の自主的で多様な活動環境の整備
市民、 NPO	都心のまちづくりに関わる提言 都心を活用したイベント、文化活動等の企画、運営と参加 ホスピタリティ向上のための活動への参加

### 3 段階的な組織形成のあり方



## 4 計画の実行性を高めるための取組み

### 地区別、テーマ別計画等の策定

本計画で示すまちづくりの目標、方針や展開プログラムを実現化するため、地区別、テーマ別に指針、計画等を策定する。これらの中で、都市計画の前提となる具体的整備内容、各種施策の推進プログラム、目標達成評価の指標と目標値等を設定する。

(例)

- ・骨格軸、交流拠点ごとのまちづくり指針、計画
- ・ターゲットエリアのまちづくりを先導する街区単位のまちづくり指針、計画
- ・都心交通計画
- ・都心居住促進の計画
- ・オープンスペース・ネットワーク計画

### 中心市街地活性化基本計画の策定

中心市街地活性化基本計画を策定し、財源確保や実施主体の明確化に応じて実施すべき具体的施策・事業を位置づけるとともに、TMOの役割、組織構成等のあり方について明らかにする。

### 資金調達方策、事業推進方策の検討

TMOや地区別まちづくり組織等が効果的な活動を行うための資金調達方策や民間都市開発に関わる事業推進方策を、具体的な事業展開に合わせて検討する。

### 本計画の見直し

上記の地区別、テーマ別計画の具体化や展開プログラムの進捗、社会・経済的な背景の変化に伴って、必要に応じて本計画の見直しを行う。

## 参考資料

---

資料 1	関連上位計画（第 4 次札幌市長期総合計画）の概要.....	1
資料 2	都心の現況と特性.....	3
資料 3	計画策定過程.....	4
	1 ) 策定協議会	
	2 ) 専門課題検討会	
	3 ) 札幌都心まちづくりフォーラム 2 0 0 1	
	4 ) 市民・来街者の活動・意識の把握	
	5 ) 基本的組立て及び素案の公表、意見募集	



## 資料1 関連上位計画（第4次札幌市長期総合計画）の概要

第4次札幌市長期総合計画（以下「長期総合計画」という。）では、21世紀の札幌のまちづくりの基本的な方向として、

「市民一人ひとりの暮らしの充実とそれを支えるまちづくり」

「環境と調和した活力と創造性に富んだまちづくり」

以上の2つを掲げており、これらを実現するための最も中心的な拠点として都心を位置づけている。

また、基本構想で掲げる「北方圏の拠点都市」「新しい時代に対応した生活都市」のふたつの都市像を受け、都心を「多中心核都市構造の中心」としたうえで、魅力的で活力ある都心整備の目標を掲げるとともに、重点的に整備に取り組むべき4つの骨格軸と5つの主要ゾーンを設定し、整備の方向性を示している。

### 〔魅力的で活力ある都心整備の目標〕

#### 【1】環境との共生と都市個性の伸長

人と自然が調和したまちづくりの理念が象徴的に表現されるオープンスペースの確保  
都心に残されている歴史的資源を活用・再生した札幌の魅力の向上につながる空間の形成  
歩行者や環境を重視した人にやさしい交通の実現

#### 【2】活発な諸活動の展開

相互に連携・影響しあう各種事業活動の効率的な展開，多様な都市サービスの提供  
内外の人のさまざまな交流，情報の受発信，芸術文化活動が活発に展開される場の形成

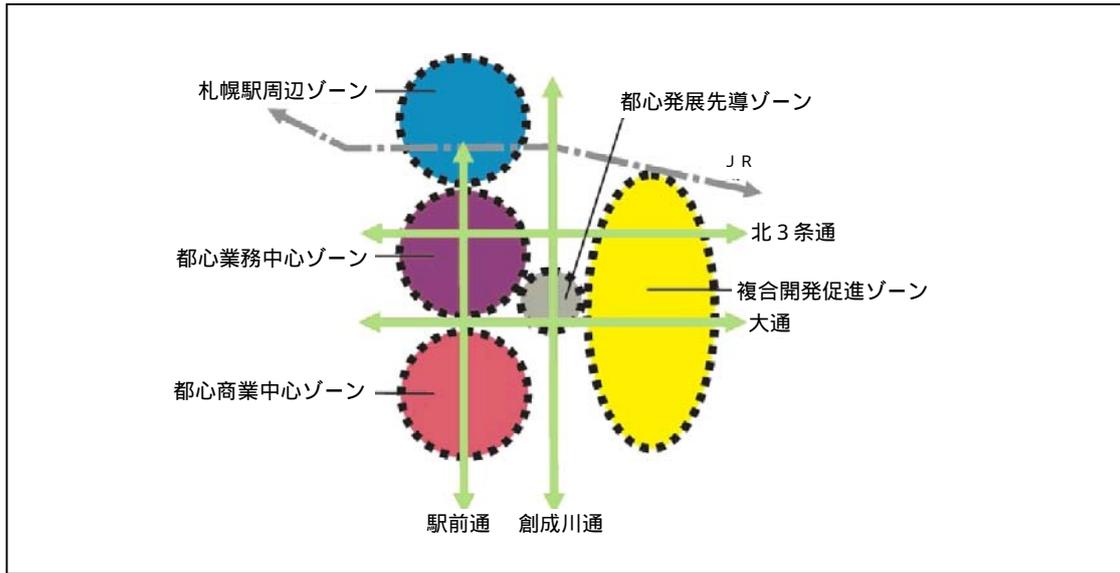


図 主要ゾーンと骨格軸

表 主要ゾーンと骨格軸の整備方針

主要ゾーン	札幌駅周辺ゾーン	札幌の玄関口として都心整備の2つの目標を具現化するモデル拠点を形成 駅南口一帯は、高次都市機能が複合化した開発と都市基盤施設を一体的に推進 駅北口一帯は、情報関連産業の一層の集積を図るなど、産業を育成する場を形成
	都心業務中心ゾーン	中枢管理機能の集積地、札幌本府発祥の地として、風格のある良質な空間形成を誘導
	都心商業中心ゾーン	全体として回遊性の高い一体的な商業ゾーンの形成に向けた機能更新や空間整備を促進 歩行者専用ゾーンの設定や歩行者重視の中通りの整備等、快適な歩行空間を確保
	都心発展先導ゾーン	札幌発展の基点としての歴史的価値を生かし都心の新たな発展に向けた拠点として再生 大通の連続化や豊平川方面への延伸、創成川以東地域の発展を先導 これからの都心が備えるべき空間や機能、都市基盤施設のモデルとなる拠点開発を促進
	複合開発促進ゾーン	先行的な拠点開発、大通延伸への期待、残されている開発余地などを資源として活用 経済活動の機能と多様な居住形態やライフスタイルが複合化した新たな都心づくり
骨格軸	大通	都心の中心的オープンスペースを軸とした人の多様な活動を支える環境の向上 段階的な連続化や水路の整備などにより、ゆたかで魅力的な空間を提供 創成川以東の発展の中心軸として、大通を東方向に延伸
	駅前通	南北方向の中心的な軸として歩行者重視の空間整備を促進 快適な重層的歩行者動線の整備、沿道の空地や緑の連続的の確保、魅力的な景観の形成
	創成川通	創成川通のアンダーパス化による通過交通の円滑な処理 創成川の親水空間化による南北方向のオープンスペースの軸の形成
	北三条通	歴史性を生かした景観軸、都心の魅力を東方向に発展させる軸 歴史的資源の保存・再生と、人が集い楽しめる機能の確保、魅力的な街並みの形成

## 資料 2 都心の現況と特性

### 都市形成の歴史的資産

明治2年 札幌本府建設  
現北海道庁周辺の20街区に設置。現在も比較的規模の大きい建築物が立地している。

明治4年 格子状の市街地が設定  
創成川(運路、農業用水路、工業用水路等)としても活用・大通(南北の防火線)として設置が南北の基軸とされた。

明治13年 札幌停車場設置  
現駅前通沿線に商業機能が集積した。

明治19年 勸業勲業・殖産興業  
北海道庁の設置とともに本府を支える産業機能が現在の苗穂駅周辺に集積した。北三条沿いには現在も産業遺構が点在している。

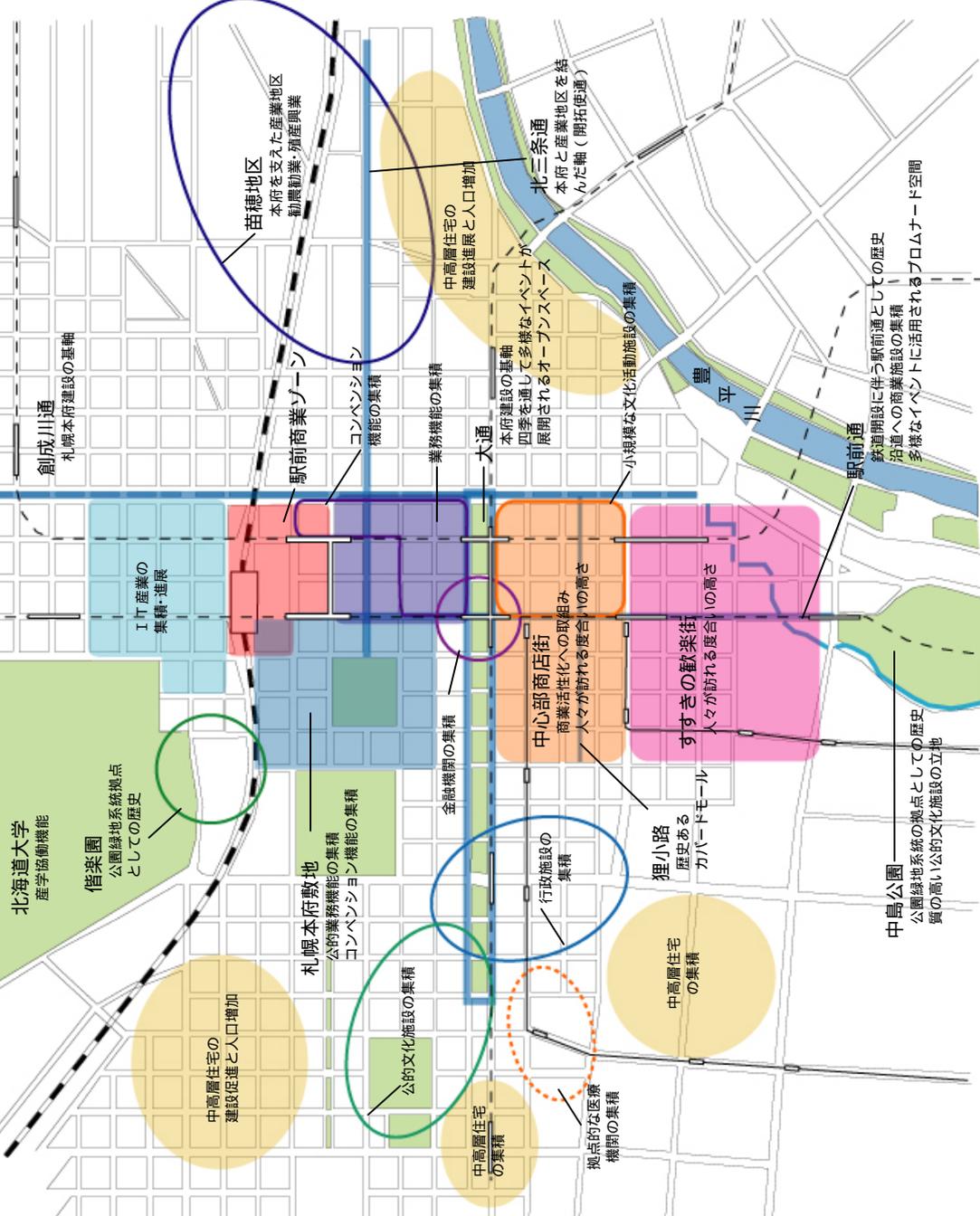
公園緑地系統  
中島公園・円山公園・偕楽園は、公園緑地系統の拠点として整備された。

### 経済活動・交流活動施設の立地状況

業務施設の集積  
札幌駅北口周辺(IT産業)旧道庁周辺、駅前通東側、大通沿道(大規模業務施設) 創成川通東側(小規模業務施設)

商業施設の集積  
大通以南・国道36号(大規模店舗・小売業の集積)札幌駅前(大型店舗、札幌駅南口再開発に伴う大型店舗の集積の進展)

集客交流資源  
歴史的資産：旧道庁赤レンガ、札幌時計台、札幌資料館、札幌麦酒工場など  
集客施設：北海道を代表する大規模ホールなど



### オープンスペース文化活動施設の立地状況

公園・緑地  
大通公園(四季を通じて多様な文化イベントが開催され、活動性が高い)  
豊平川(豊かな水辺環境と連携した安らぎの場、スポーツの場)  
中島公園(質の高いコンサートホールが立地するオープンスペース)  
J R 札幌駅の南口及び北口(人々の集積がみられる広場)

インナーオープンスペース  
あるカバードモール)

公共文化施設  
大通以北・駅前通西側に集積(厚生年金会館、教育文化会館、道立近代美術館など)

小規模なギャラリー・貸スタジオなど  
大通を挟んだ一帯に広く立地

### 生活関連施設の立地状況・人口動向

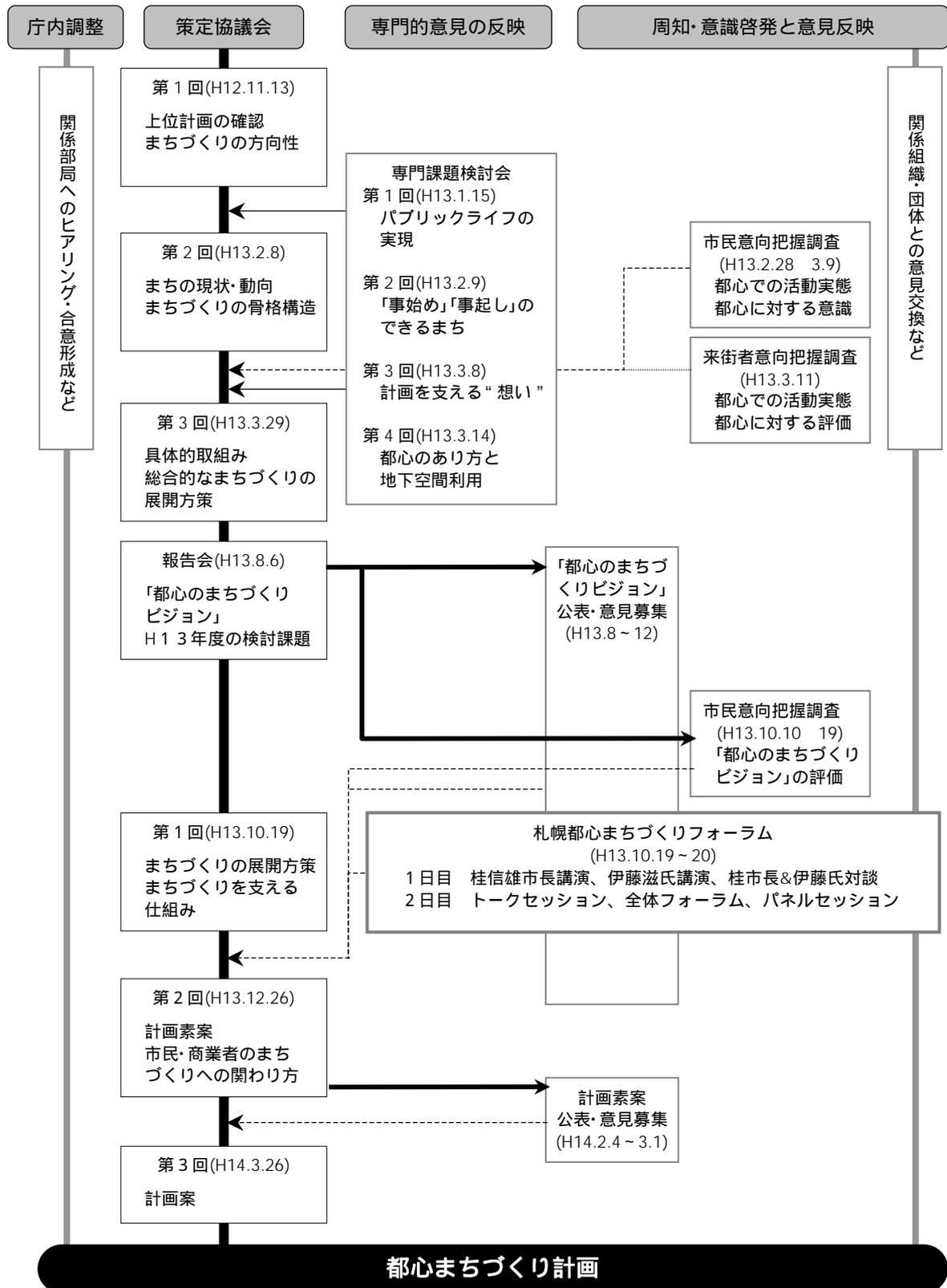
人口動向  
中央区の人口はこれまで減少傾向が続いていたが、平成12年度国勢調査で増加傾向に転じた。特に創成川東側及びJ R 桑園駅周辺において大幅な増加がみられる。

中高層住宅の立地状況  
豊平川沿道、札幌駅北口周辺、J R 桑園駅周辺、大通西側、また大規模医療施設の周辺で集積がみられる。

行政施設  
大通以北・札幌駅にかけての一帯と、大通西11丁目付近に集中している。

# 資料3 計画策定過程

〔計画策定過程〕



## 1) 策定協議会

### 開催経緯

#### 〔平成12年度〕

##### 第1回 平成12年11月13日(月)

札幌市の上位計画における都心の位置づけを確認し、上位計画をふまえた検討視点から都心のまちづくりの方向性について検討

##### 第2回 平成13年2月8日(木)

まちづくりの方向性の確認をするとともに、都心の現状や動向、関連計画などをふまえて導き出された都心のまちづくりの骨格構造について検討

##### 第3回 平成13年3月29日(木)

まちづくりの骨格構造を形成するための具体的なプロジェクトの内容と、プロジェクト間の関係性をふまえた総合的なまちづくりの展開方策について検討

##### 報告会 平成13年8月6日(月)

平成12年度の中間報告「都心のまちづくりビジョン」及び今後の検討課題とスケジュールについて確認

#### 〔平成13年度〕

##### 第1回 平成13年10月19日(金)

まちづくり展開の考え方と、まちづくりを支える仕組みのあり方について検討

##### 第2回 平成13年12月26日(水)

計画素案をもとに、計画公表後の市民・商業者の関わり方や計画管理の必要性について検討

##### 第3回 平成14年3月26日(火)

計画案について検討

構成員（敬称略）

顧問	早稲田大学理工学部 教授	伊藤 滋
座長	北海道大学大学院工学研究科 教授	小林 英嗣
委員	株式会社 三菱総合研究所海外開発事業部 研究員	伊藤 美保
	札幌市商店街振興組合連合会 理事長	岩井 滉
	北海道大学大学院 経済学研究科 教授	内田 和男
	社団法人 札幌市身体障害者福祉協会会長 2002年第6回DPI世界大会札幌大会組織委員会会長	神田 直也
	工学院大学工学部建築都市デザイン学科教授 株式会社 アーバン・ハウス都市建築研究所代表	倉田 直道
	狸小路商店街振興組合理事長	竹内 宏二
	札幌中心部商店街活性化協議会 会長	富樫 英樹
	フリーキャスター	林 美香子
	札幌商工会議所常務理事・事務局長	向井 慎一
	イベント・プロデューサー 株式会社ケーピー代表取締役	森下 慶子
	札幌市 企画調整局 計画部長	千葉 守
	企画調整局 総合交通対策部長	横山 直満
	経済局 産業振興部長	池田 捨成
オ`ザ`-バ`-	国土交通省土地・水質源局土地情報課 課長補佐	田村 隆
事務局	札幌市企画調整局企画部	
	社団法人北海道開発問題研究調査会	

## 2) 専門課題検討会

第1回 平成13年1月15日(月)

講師：倉田直道氏(工学院大学教授、株式会社アーバン・ハウス  
都市建築研究所代表取締役)

テーマ：都心の活性化 パブリックライフの実現

海外事例をふまえたパブリックライフの紹介と、都心におけるパブリックライフの実現に向けた取組みなどについての提案を受け、意見交換を行った。

第2回 平成13年2月9日(金)

講師：森下慶子氏(株式会社ケーピー代表取締役  
イベントプロデューサー)

テーマ：「事始め」「事起こし」のできる“まち”

イベント開催などを通じたまちづくりを進めてきた経験をふまえ、まちづくりを進めるために必要なパートナーシップのあり方などについての提案を受け、意見交換を行った。

第3回 平成13年3月8日(木)

講師：田中珍彦氏(株式会社 東急文化村 専務取締役)

テーマ：計画を支える“想い”

東急文化村の設立に至るまでの経緯と設立者の“想い”の紹介を通じ、まちづくりにおける人々の“想い”の必要性などについての提案を受け、意見交換を行った。

第4回 平成13年3月14日(水)

講師：正木範昭氏(株式会社 日建設計 土木事務所長)

テーマ：札幌都心部のあり方と地下空間利用について

広島県紙屋町地下街の建設までの経緯や課題などの紹介と、札幌都心部の特性などをふまえた都市軸や地下ネットワークのあり方についての提案を受け、意見交換を行った。

### 3) 札幌都心まちづくりフォーラム2001

#### プログラム

1日目 平成13年10月19日(金) 18:30～20:30

講演1 「新しい時代の札幌都心のまちづくり」

札幌市長 桂 信雄

講演2 「世界都市・札幌への期待」

早稲田大学理工学部教授 伊藤 滋氏

対談 「世界都市にふさわしい札幌都心づくりの展望」

札幌が世界都市にふさわしい魅力を持つための都心づくりのビジョンと、札幌にある可能性を引き出し、望ましい都心を形成していくための戦略について

桂 信雄氏 & 伊藤 滋氏

コーディネーター 林 美香子氏

2日目 平成13年10月20日(土)

トークセッション(同時開催) 13:00～15:00

セッション1 コンベンション都市戦略と都心

集客交流促進の中心課題であるコンベンション都市戦略に関連し、その基本的な方向性、都心に求められる機能・活動などについて

コーディネーター：京都デザイン研究所 代表取締役

川口 直木氏

コメンテーター：札幌市総務局東京事務所 副所長

井上 力氏

(株)ウエス 代表取締役

小島紳次郎氏

国際交流コーディネーター

杉岡 昭子氏

(社)すすきの観光協会 会長

久末 聖治氏

## セッション2 札幌の都市文化を育成・発信する都心

札幌が持つ個性や魅力をふまえた都市文化の特性と、それらを育成し、世界へ発信していくための取組みや仕掛けについて

コーディネーター：フリーキャスター	林 美香子氏
コメンテーター：(株)東急文化村 副社長	田中 珍彦氏
北海道大学国際広報メディア研究科 教授	常田 益代氏
P M F 組織委員会 事務局長	前田 龍一氏
北海道立近代美術館 館長	水上 武夫氏

## セッション3 これからの時代の都心インフラ

成熟社会の中で、都心の魅力と活力を高めることを指向する都心インフラ（オープンスペース、交通ネットワーク等）のあり方、それを実現するための取組みや仕掛けについて

コーディネーター：室蘭工業大学工学部建設システム工学科 助教授	田村 亨氏
コメンテーター：(財)計量計画研究所研究部交通系 次長	鈴木 紀一氏
北海道新聞 編集委員	高橋 純二氏
札幌中心部商店街活性化協議会 会長	富樫 英樹氏

## セッション4 都心のまちづくりを展開する仕組み

都心のまちづくりを推進していくために必要なパートナーシップのあり方や組織イメージについて

コーディネーター：工学院大学工学部建築都市デザイン学科 教授	倉田 直道氏
コメンテーター：東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 助教授	北沢 猛氏
札幌駅前通振興会 幹事	田上 建夫氏
(株)近沢レース 代表取締役社長	近沢 弘明氏
南一条地区開発事業推進協議会 代表 外部会長	松山 保則氏

全体フォーラム 15:30～17:00

1 日目の講演及び各セッションでの議論をふまえ、今後の都心のまちづくりの  
取組課題、行政・民間それぞれの役割、具体的展開のための仕組みなどについ  
て

コーディネーター：北海道大学大学院教授	小林 英嗣氏
コメンテーター：早稲田大学理工学部教授	伊藤 滋氏
都心フォーラム実行委員会 委員長	岩井 滉氏
京都デザイン研究所 代表取締役	川口 直木氏
フリーキャスター	林 美香子氏
室蘭工業大学工学部建設システム工学科 助教授	田村 亨氏
工学院大学工学部建築都市デザイン学科 教授	倉田 直道氏

まちづくりパネルセッション 10:00～17:00

都心のまちづくりに関わる取組み・活動について、市内の8団体からパネルを使った  
プレゼンテーションが行われた。

参加者数

10月19日(金) 約400名

10月20日(土)

トークセッション

セッション1 52名 / セッション2 30名

セッション3 50名 / セッション4 67名

全体フォーラム 約150名

パネルセッション 約150名参観

#### 4) 市民・来街者の活動・意識の把握

##### 札幌市民意向把握調査

調査内容 : 都心における活動実態及び都心に対する意識

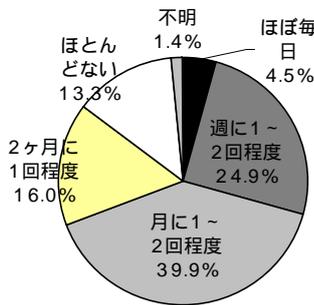
調査方法 : アンケート調査 (郵送配布・郵送回収)

調査対象 : 札幌市民 2,996人

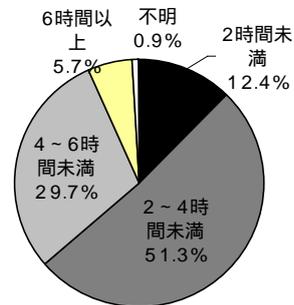
有効回収数 : 848サンプル (有効回収率 28.3%)

調査期間 : 平成13年2月28日(水)～3月9日(金)

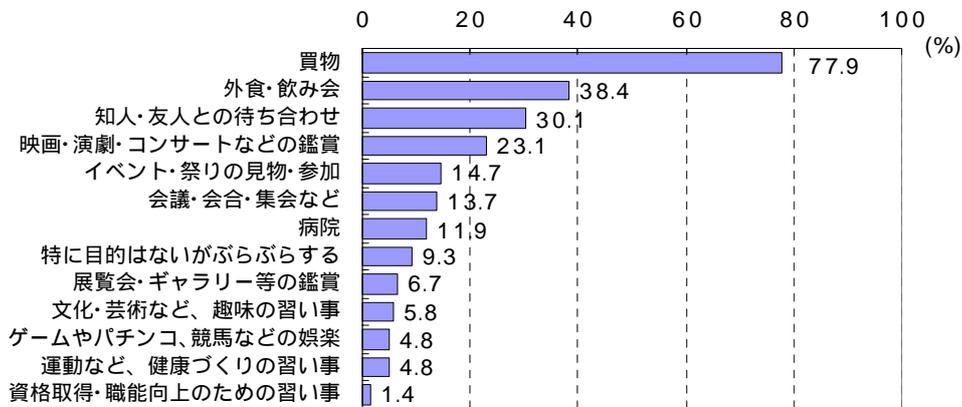
通勤・通学以外で都心へ来る頻度



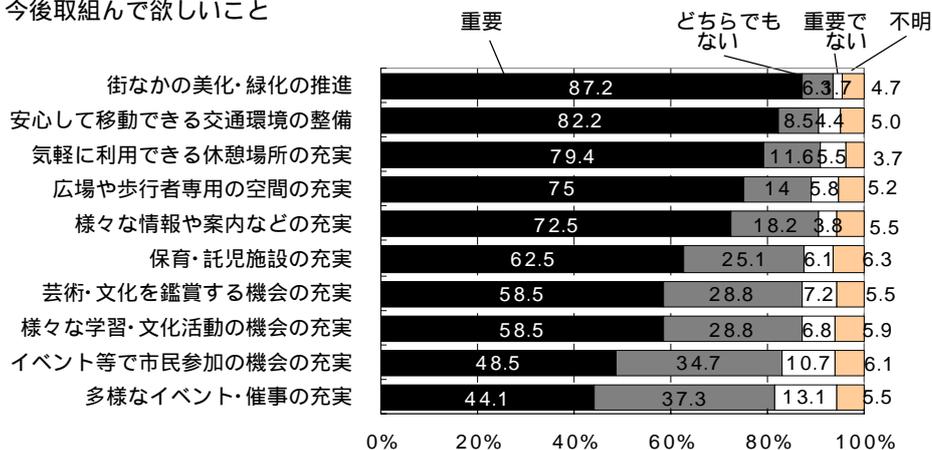
都心で過ごす時間



都心へ行く目的 (通勤・通学以外)



今後取組んで欲しいこと



## 来街者意向把握調査

調査内容 : 都心での活動実態及び都心に対する評価

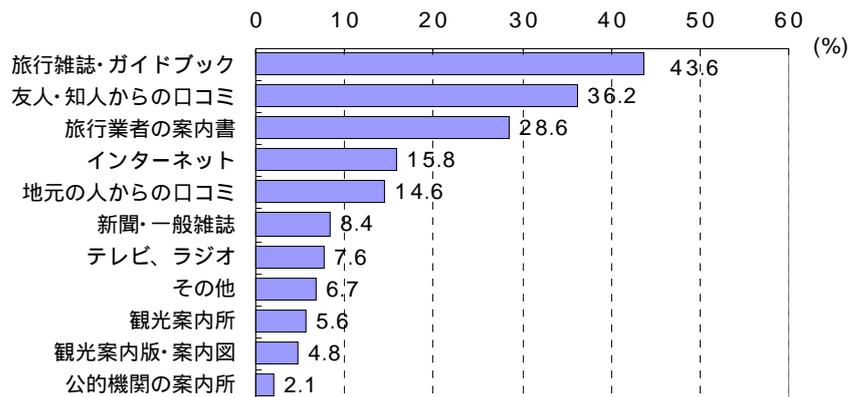
調査方法 : アンケート調査 (新千歳空港搭乗口付近にて直接配布・直接回収)

調査対象 : 札幌市以外から札幌を訪れた新千歳空港利用者

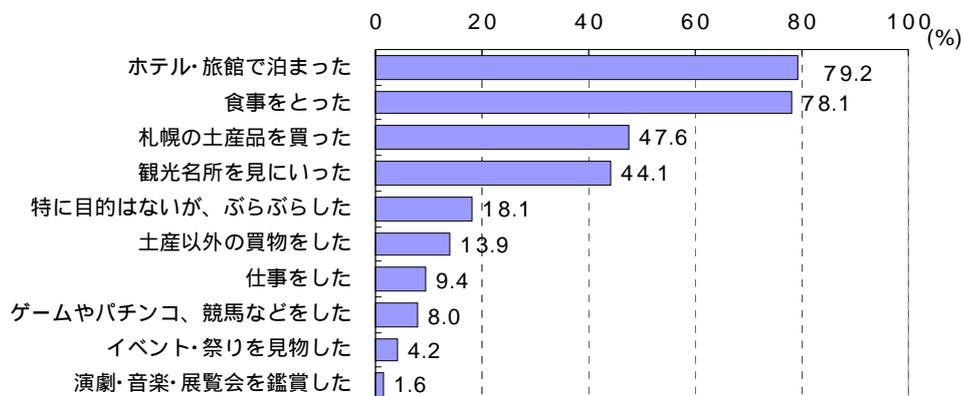
有効回収数 : 944 サンプル

調査期間 : 平成13年3月11日(日)

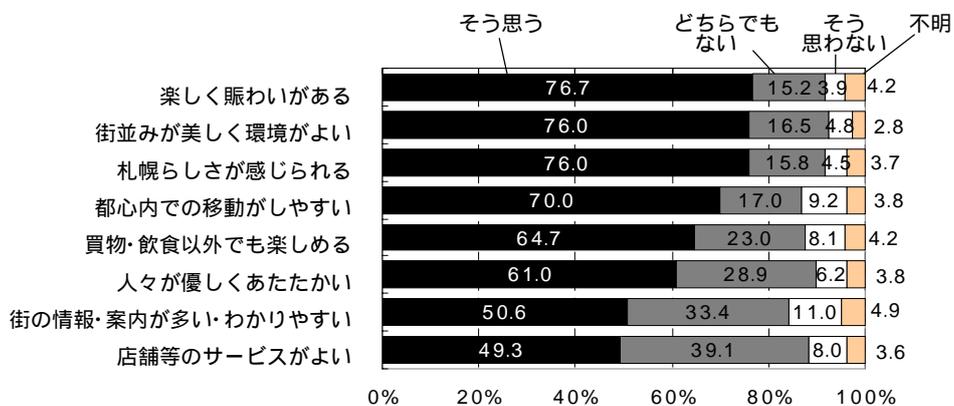
### 札幌の情報収集手段



### 都心での活動



### 都心の評価



## 5) 基本的組立て及び素案の公表、意見募集

### 札幌市民意向把握調査

調査内容：「都心のまちづくりビジョン」に対する評価・意見の募集

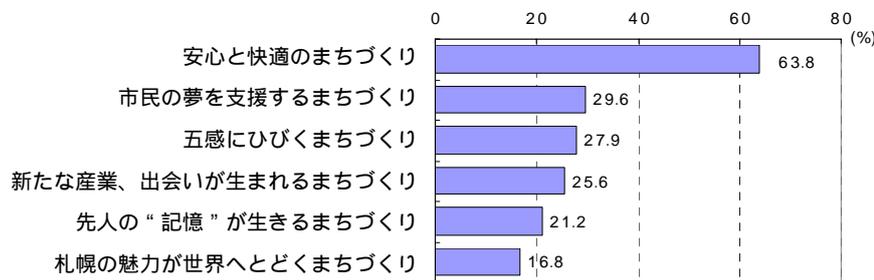
調査方法：アンケート調査（郵送配布・郵送回収）

調査対象：札幌市民 2,996人

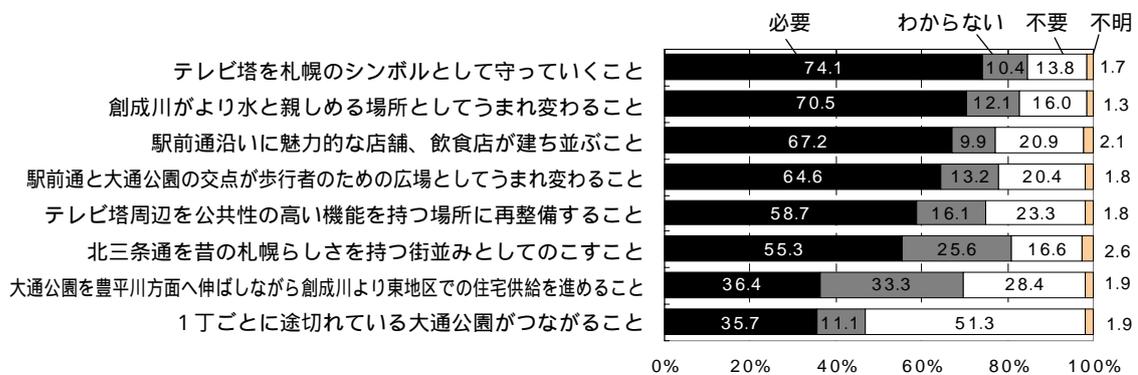
有効回収数：892サンプル（有効回収率 29.8%）

調査期間：平成13年10月10日（水）～10月19日（金）

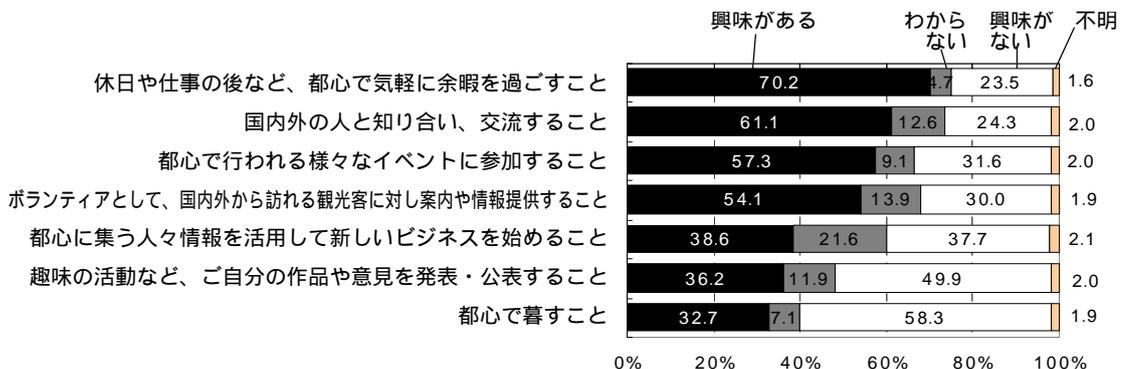
### 6つの方針に対する評価



### まちづくりの提案に対する評価



### 都心での活動に対する関心



## 都心まちづくりビジョンの公表

期 間：平成13年8月～12月末

手 段：「都心のまちづくりビジョン」パンフレットの配布、インターネットによる公表・意見募集、  
広報札幌での通知

(都心のまちづくりビジョン パンフレット)



## 素案の公表

期 間：平成14年2月4日(月)～3月1日(金)

手 段：素案配布、インターネットを通じた素案公表・意見募集、広報札幌での通知



## 都心まちづくり計画

平成14年(2002年)6月発行  
編集・発行 / 札幌市企画調整局企画部都心まちづくり推進室  
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目  
TEL(011)211-2692 FAX(011)218-5112  
E-mail:ki.downtown@city.sapporo.jp

市政等資料番号	01-C02-02-282
広報印刷物番号	14-1-25
保存期間	永年

